

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

## 都道府県名 北海道

## 総務省

### - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	江差病院	3	苫小牧市	苫小牧市立病院	21	木古内町	国保病院	39
-	羽幌病院	4	稚内市	稚内病院	22	森町	国保病院	40
-	緑ヶ丘病院	5	稚内市	稚内こまどり病院	23	八雲町	八雲総合病院	41
-	向陽ヶ丘病院	6	美唄市	市立美唄病院	24	八雲町	八雲町熊石国民健康保険病院	42
-	北見病院	7	芦別市	芦別病院	25	長万部町	町立病院	43
-	子ども総合医療・療育センタ ー	8	江別市	市立病院	26	厚沢部町	国保病院	44
札幌市	札幌病院	9	赤平市	あかびら市立病院	27	乙部町	国保病院	45
函館市	市立函館病院	10	士別市	士別市立病院	28	奥尻町	国保病院	46
函館市	市立函館恵山病院	11	名寄市	総合病院	29	今金町	国保病院	47
函館市	市立函館南茅部病院	12	名寄市	名寄東病院	30	せたな町	せたな町立国保病院（病院事業分）	48
小樽市	小樽病院	13	三笠市	三笠総合病院	31	黒松内町	黒松内町国民健康保険病院	49
旭川市	市立旭川病院	14	根室市	根室病院	32	南幌町	国保町立病院	50
室蘭市	総合病院	15	千歳市	千歳市民病院	33	奈井江町	奈井江町立国民健康保険病院	51
釧路市	市立釧路総合病院	16	滝川市	市立病院	34	由仁町	町立病院	52
北見市	北見市国民健康保険常呂病院	17	砂川市	市立病院	35	長沼町	町立長沼病院	53
岩見沢市	総合病院	18	歌志内市	市立病院	36	月形町	国保月形町立病院	54
岩見沢市	栗沢病院	19	深川市	市立病院	37	美瑛町	町立病院	55
留萌市	市立病院	20	松前町	松前病院	38	上富良野町	上富良野町立病院	56

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 北海道

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ					
中富良野町	町立病院	57	日高町	門別国保病院	75	利尻島国民健康保険病院 組合 利尻島国保中央病院	93
和寒町	国保町立和寒病院	58	平取町	国保病院	76		
下川町	下川病院	59	新ひだか町	新ひだか町立静内病院	77		
遠別町	遠別町立国保病院	60	新ひだか町	新ひだか町立三石国民健康保 険病院	78		
天塩町	国保病院	61	土幌町	国保病院	79		
猿払村	国保病院	62	鹿追町	国保病院	80		
浜頓別町	国保病院	63	芽室町	国保芽室病院	81		
中頓別町	国保病院	64	大樹町	国保病院	82		
枝幸町	枝幸町国民健康保険病院	65	広尾町	広尾町国民健康保険病院	83		
豊富町	豊富町国民健康保険病院	66	池田町	十勝いけだ地域医療センター	84		
美幌町	国保病院	67	本別町	国保病院	85		
斜里町	斜里町国民健康保険病院	68	足寄町	国保病院	86		
滝上町	国保病院	69	厚岸町	厚岸病院	87		
興部町	国保病院	70	標茶町	町立病院	88		
雄武町	国保病院	71	別海町	別海病院	89		
豊浦町	国保病院	72	中標津町	中標津病院	90		
白老町	国保病院	73	標津町	標津町国民健康保険標津病院	91		
むかわ町	むかわ町鶴川厚生病院	74	広域紋別病院企業団	広域紋別病院	92		

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名			
病院名	江差病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	12,101 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	146	29.8	26.4	24.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	48	-	-	6.2
感染症	4	1.1	3.8	3.8
計	198	22.0	19.5	19.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	16.4	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,803,025,736	
標準財政規模(千円)	1,378,127,405	
財政力指数	0.46275	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.0
	将来負担比率(%)	307.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,362,042			
1 経常収益	3,344,078			
(1) 医業収益	1,538,830			
(うち修正医業収益)	1,381,124			
入院収益	612,988			
外来収益	722,861			
診療収入計	1,335,849			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	202,981			
(うち他会計負担金)	157,706			
(2) 医業外収益	1,805,248			
(うち国・都道府県補助金)	13,828			
(うち他会計補助・負担金)	1,624,332			
(うち長期前受金戻入)	164,226			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,964			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,347,256			
2 経常費用	3,328,381			
(1) 医業費用	3,116,277			
職員給与費	1,631,960	106.1	60.8	69.3
材料費	295,412	19.2	27.1	18.4
(うち薬品費)	88,023	5.7	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	207,389	13.5	11.8	9.1
減価償却費	227,181	14.8	8.6	10.8
経費	957,310	62.2	22.0	29.9
(うち委託料)	385,413	25.0	11.8	13.7
研究研修費	3,839			
資産減耗費	575			
(2) 医業外費用	212,104			
(うち支払利息)	88,708	5.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	18,875			
経常損益	15,697			
純損益	14,786			
累積欠損金	15,869,451			
経常収支比率	100.5		93.0	91.6
医業収支比率	49.4		83.9	77.4
修正医業収支比率	44.3		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	53.3		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	115.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	53.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	46.9		81.6	75.4

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	20,404,130
1 固定資産	17,145,440
(1) 有形固定資産	16,245,903
(2) 無形固定資産	21,065
(3) 投資その他の資産	878,472
2 流動資産	3,258,690
(1) 現金及び預金	1,798,679
(2) 未収金及び未収収益	1,379,199
(3) 貸倒引当金( )	15,878
(4) 貯蔵品	76,451
3 繰延資産	-
負債合計	73,084,192
1 固定負債	55,143,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,328,155
(2) その他の企業債	177,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	4,377,573
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,518,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,795,675
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	625,110
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,005,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,422,413
(1) 長期前受金	42,232,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,810,385
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,680,062
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,768,542
(1) 資本剰余金	660,630
(2) 利益剰余金	-54,429,172
負債・資本合計	20,404,130
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,680,062
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,257,649
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	611,289	1,782,038
資本勘定繰入	266,333	266,333
計	877,622	2,048,371

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	748.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 羽幌病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,702 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	91	25.0	22.9	19.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	91	25.0	22.9	19.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.8	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,803,025,736	
標準財政規模(千円)	1,378,127,405	
財政力指数	0.46275	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.0
	将来負担比率(%)	307.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,938,739			
1 経常収益	1,938,694			
(1) 医業収益	919,068			
(うち修正医業収益)	776,300			
入院収益	298,358			
外来収益	434,208			
診療収入計	732,566			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	186,502			
(うち他会計負担金)	142,768			
(2) 医業外収益	1,019,626			
(うち国・都道府県補助金)	2,534			
(うち他会計補助・負担金)	921,114			
(うち長期前受金戻入)	94,055			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,890,020			
2 経常費用	1,885,797			
(1) 医業費用	1,742,420			
職員給与費	971,792	105.7	60.8	82.0
材料費	170,330	18.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	78,879	8.6	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,451	10.0	11.8	6.1
減価償却費	117,096	12.7	8.6	12.5
経費	477,274	51.9	22.0	34.4
(うち委託料)	192,094	20.9	11.8	16.9
研究研修費	2,674			
資産減耗費	3,254			
(2) 医業外費用	143,377			
(うち支払利息)	80,561	8.8	0.9	1.2
(3) 特別損失	4,223			
経常損益	52,897			
純損益	48,719			
累積欠損金	14,643,178			
経常収支比率	102.8		93.0	93.1
医業収支比率	52.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	44.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	54.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	115.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	54.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	46.4		81.6	68.2

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,404,130
1 固定資産	17,145,440
(1) 有形固定資産	16,245,903
(2) 無形固定資産	21,065
(3) 投資その他の資産	878,472
2 流動資産	3,258,690
(1) 現金及び預金	1,798,679
(2) 未収金及び未収収益	1,379,199
(3) 貸倒引当金( )	15,878
(4) 貯蔵品	76,451
3 繰延資産	-
負債合計	73,084,192
1 固定負債	55,143,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,328,155
(2) その他の企業債	177,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	4,377,573
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,518,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,795,675
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	625,110
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,005,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,422,413
(1) 長期前受金	42,232,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,810,385
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,680,062
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,768,542
(1) 資本剰余金	660,630
(2) 利益剰余金	-54,429,172
負債・資本合計	20,404,130
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,680,062
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,257,649
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	634,134	1,063,882
資本勘定繰入	144,477	151,898
計	778,611	1,215,780

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	748.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名			
病院名	緑ヶ丘病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,670 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	168	29.9	31.1	27.8
感染症	-	-	-	-
計	168	29.9	31.1	27.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,803,025,736	
標準財政規模(千円)	1,378,127,405	
財政力指数	0.46275	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.0
	将来負担比率(%)	307.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,859,573			
1 経常収益	1,859,224			
(1) 医業収益	768,106			
(うち修正医業収益)	740,287			
入院収益	453,871			
外来収益	270,514			
診療収入計	724,385			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	43,721			
(うち他会計負担金)	27,819			
(2) 医業外収益	1,091,118			
(うち国・都道府県補助金)	5,539			
(うち他会計補助・負担金)	987,051			
(うち長期前受金戻入)	98,013			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	349			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,879,544			
2 経常費用	1,875,904			
(1) 医業費用	1,787,656			
職員給与費	1,220,376	158.9	60.8	108.5
材料費	58,847	7.7	27.1	9.4
(うち薬品費)	44,064	5.7	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,783	1.9	11.8	1.4
減価償却費	123,000	16.0	8.6	12.6
経費	379,969	49.5	22.0	34.8
(うち委託料)	243,605	31.7	11.8	15.4
研究研修費	4,126			
資産減耗費	1,338			
(2) 医業外費用	88,248			
(うち支払利息)	37,774	4.9	0.9	2.1
(3) 特別損失	3,640			
経常損益	-16,680			
純損益	-19,971			
累積欠損金	16,266,201			
経常収支比率	99.1		93.0	95.5
医業収支比率	43.0		83.9	60.3
修正医業収支比率	41.4		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	54.6		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	132.1		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	54.6		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	45.0		81.6	61.5

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	20,404,130
1 固定資産	17,145,440
(1) 有形固定資産	16,245,903
(2) 無形固定資産	21,065
(3) 投資その他の資産	878,472
2 流動資産	3,258,690
(1) 現金及び預金	1,798,679
(2) 未収金及び未収収益	1,379,199
(3) 貸倒引当金( )	15,878
(4) 貯蔵品	76,451
3 繰延資産	-
負債合計	73,084,192
1 固定負債	55,143,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,328,155
(2) その他の企業債	177,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	4,377,573
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,518,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,795,675
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	625,110
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,005,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,422,413
(1) 長期前受金	42,232,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,810,385
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,680,062
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,768,542
(1) 資本剰余金	660,630
(2) 利益剰余金	-54,429,172
負債・資本合計	20,404,130
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,680,062
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,257,649
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	609,228	1,014,870
資本勘定繰入	47,647	55,072
計	656,875	1,069,942

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	748.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 向陽ヶ丘病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,074 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	105	33.0	36.9	45.6
感染症	-	-	-	-
計	105	33.0	36.9	45.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,803,025,736	
標準財政規模(千円)	1,378,127,405	
財政力指数	0.46275	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.0
	将来負担比率(%)	307.0

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,675,896				
1 経常収益	1,615,109				
(1) 医業収益	451,352				
(うち修正医業収益)	423,533				
入院収益	220,162				
外来収益	194,987				
診療収入計	415,149				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	36,203				
(うち他会計負担金)	27,819				
(2) 医業外収益	1,163,757				
(うち国・都道府県補助金)	6,210				
(うち他会計補助・負担金)	1,060,807				
(うち長期前受金戻入)	95,465				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	60,787				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,604,188				
2 経常費用	1,566,050				
(1) 医業費用	1,474,767				
職員給与費	887,839	196.7	60.8	108.5	
材料費	59,587	13.2	27.1	9.4	
(うち薬品費)	41,503	9.2	14.8	6.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,084	4.0	11.8	1.4	
減価償却費	159,791	35.4	8.6	12.6	
経費	364,257	80.7	22.0	34.8	
(うち委託料)	210,026	46.5	11.8	15.4	
研究研修費	2,072				
資産減耗費	1,221				
(2) 医業外費用	91,283				
(うち支払利息)	32,239	7.1	0.9	2.1	
(3) 特別損失	38,138				
経常損益	49,059				
純損益	71,708				
累積欠損金	8,824,530				
経常収支比率	103.1		93.0	95.5	
医業収支比率	30.6		83.9	60.3	
修正医業収支比率	28.7		81.0	57.7	
他会計繰入金対経常収益比率	67.4		12.2	35.6	
他会計繰入金対医業収益比率	241.2		14.3	58.4	
他会計繰入金対総収益比率	65.0		12.3	35.3	
実質収益対経常費用比率	33.6		81.6	61.5	

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,404,130
1 固定資産	17,145,440
(1) 有形固定資産	16,245,903
(2) 無形固定資産	21,065
(3) 投資その他の資産	878,472
2 流動資産	3,258,690
(1) 現金及び預金	1,798,679
(2) 未収金及び未収収益	1,379,199
(3) 貸倒引当金( )	15,878
(4) 貯蔵品	76,451
3 繰延資産	-
負債合計	73,084,192
1 固定負債	55,143,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,328,155
(2) その他の企業債	177,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	4,377,573
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,518,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,795,675
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	625,110
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,005,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,422,413
(1) 長期前受金	42,232,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,810,385
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,680,062
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,768,542
(1) 資本剰余金	660,630
(2) 利益剰余金	-54,429,172
負債・資本合計	20,404,130
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,680,062
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,257,649
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	426,965	1,088,626
資本勘定繰入	92,258	92,258
計	519,223	1,180,884

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	748.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 北見病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,378 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	70	63.1	58.2	41.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	63.1	58.2	41.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	2,803,025,736	
標準財政規模(千円)	1,378,127,405	
財政力指数	0.46275	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.0
	将来負担比率(%)	307.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	430,586			
1 経常収益	386,242			
(1) 医業収益	27,819			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	27,819			
(うち他会計負担金)	27,819			
(2) 医業外収益	358,423			
(うち国・都道府県補助金)	40,000			
(うち他会計補助・負担金)	149,829			
(うち長期前受金戻入)	168,174			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44,344			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	451,088			
2 経常費用	429,106			
(1) 医業費用	369,816			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	267,587	961.9	8.6	12.5
経費	97,424	350.2	22.0	34.4
(うち委託料)	53,260	191.5	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	4,805			
(2) 医業外費用	59,290			
(うち支払利息)	28,655	103.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	21,982			
経常損益	-42,864			
純損益	-20,502			
累積欠損金	2,595,451			
経常収支比率	90.0		93.0	93.1
医業収支比率	7.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	46.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	638.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	41.3		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	48.6		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	20,404,130
1 固定資産	17,145,440
(1) 有形固定資産	16,245,903
(2) 無形固定資産	21,065
(3) 投資その他の資産	878,472
2 流動資産	3,258,690
(1) 現金及び預金	1,798,679
(2) 未収金及び未収収益	1,379,199
(3) 貸倒引当金( )	15,878
(4) 貯蔵品	76,451
3 繰延資産	-
負債合計	73,084,192
1 固定負債	55,143,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,328,155
(2) その他の企業債	177,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) その他の長期借入金	29,896,748
(5) 引当金	4,377,573
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,518,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,795,675
(2) その他の企業債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	625,110
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,005,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,422,413
(1) 長期前受金	42,232,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,810,385
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,680,062
1 本金	1,088,480
2 剰余金	-53,768,542
(1) 資本剰余金	660,630
(2) 利益剰余金	-54,429,172
負債・資本合計	20,404,130
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,680,062
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,257,649
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	170,491	177,648
資本勘定繰入	113,685	144,552
計	284,176	322,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	748.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病 院 名  子ども総合医療・療育センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,116 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一 般	215	48.4	53.5	53.1
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	215	48.4	53.5	53.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	15.9	16.8

設立団体の状況		
人 口(人)	5,224,614	
決 算 規 模(千円)	2,803,025,736	
標 準 財 政 規 模(千円)	1,378,127,405	
財 政 力 指 数	0.46275	
経 常 収 支 比 率(%)	99.8	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.0
	将来負担比率(%)	307.0

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	6,877,594			
1 経 常 収 益	6,875,060			
(1) 医 業 収 益	3,563,054			
(うち修正医業収益)	2,645,037			
入 院 収 益	2,089,047			
外 来 収 益	530,928			
診 療 収 入 計	2,619,975			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	943,079			
(うち他会計負担金)	918,017			
(2) 医 業 外 収 益	3,312,006			
(うち国・都道府県補助金)	22,598			
(うち他会計補助・負担金)	2,365,572			
(うち長期前受金戻入)	278,781			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	2,534			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	6,877,594			
2 経 常 費 用	6,864,384			
(1) 医 業 費 用	4,860,721			
職 員 給 与 費	3,210,638	90.1	60.8	66.2
材 料 費	659,081	18.5	27.1	21.2
(うち薬品費)	220,828	6.2	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	438,253	12.3	11.8	10.1
減 価 償 却 費	194,927	5.5	8.6	9.5
経 費	780,256	21.9	22.0	28.6
(うち委託料)	403,352	11.3	11.8	14.4
研 究 研 修 費	9,802			
資 産 減 耗 費	6,017			
(2) 医 業 外 費 用	2,003,663			
(うち支払利息)	97,856	2.7	0.9	1.0
(3) 特 別 損 失	13,210			
損 益	10,676			
純 損 益	-			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	100.2		93.0	89.9
医 業 収 支 比 率	73.3		83.9	79.3
修 正 医 業 収 支 比 率	54.4		81.0	75.9
他 会 計 繰 入 金 対 経 常 収 益 比 率	47.8		12.2	14.1
他 会 計 繰 入 金 対 医 業 収 益 比 率	92.2		14.3	17.0
他 会 計 繰 入 金 対 総 収 益 比 率	47.7		12.3	14.6
実 質 収 益 対 経 常 費 用 比 率	52.3		81.6	77.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	20,404,130
1 固 定 資 産	17,145,440
(1) 有 形 固 定 資 産	16,245,903
(2) 無 形 固 定 資 産	21,065
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	878,472
2 流 動 資 産	3,258,690
(1) 現 金 及 び 預 金	1,798,679
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,379,199
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	15,878
(4) 貯 蔵 品	76,451
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	73,084,192
1 固 定 負 債	55,143,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,328,155
(2) そ の 他 の 企 業 債	177,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	29,896,748
(5) 引 当 金	4,377,573
(6) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	4,518,430
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,795,675
(2) そ の 他 の 企 業 債	17,733
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	625,110
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	2,005,352
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	13,422,413
(1) 長 期 前 受 金	42,232,798
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	28,810,385
(3) 繰 延 運 営 権 対 価	-
(4) 繰 延 運 営 権 対 価 収 益 化 累 計 額 ( )	-
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資	-
(6) 運 営 権 者 更 新 投 資 収 益 化 累 計 額 ( )	-
資 本 合 計	-52,680,062
1 資 本 金	1,088,480
2 剰 余 金	-53,768,542
(1) 資 本 剰 余 金	660,630
(2) 利 益 剰 余 金	-54,429,172
負 債 ・ 資 本 合 計	20,404,130
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	52,680,062
資 本 不 足 額 (繰延収益控除後) ( )	39,257,649
備 考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	794,008	3,283,589
資 本 勘 定 繰 入	382,738	429,298
計	1,176,746	3,712,887

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資 金 不 足 等 の 状 況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	748.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	札幌市				
病院名	札幌病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	62,339 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救急が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	626	81.0	76.3	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	32.6	32.0	29.8
感染症	8	-	-	1.1
計	672	77.3	72.9	67.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.6	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,395	
決算規模(千円)	1,229,157,420	
標準財政規模(千円)	564,838,895	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	22.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	25,353,270				
1 経常収益	25,353,270				
(1) 医業収益	23,180,771				
(うち修正医業収益)	22,843,882				
入院収益	16,000,254				
外来収益	6,647,261				
診療収入計	22,647,515				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	533,256				
(うち他会計負担金)	336,889				
(2) 医業外収益	2,172,499				
(うち国・都道府県補助金)	30,703				
(うち他会計補助・負担金)	990,430				
(うち長期前受金戻入)	901,370				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	27,406,995				
2 経常費用	27,406,995				
(1) 医業費用	27,127,848				
職員給与費	12,545,039	54.1	60.8	53.3	
材料費	8,302,729	35.8	27.1	33.0	
(うち薬品費)	4,979,682	21.5	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,306,291	14.3	11.8	14.1	
減価償却費	1,596,198	6.9	8.6	7.4	
経費	4,545,387	19.6	22.0	17.2	
(うち委託料)	3,098,691	13.4	11.8	10.2	
研究研修費	90,966				
資産減耗費	47,529				
(2) 医業外費用	279,147				
(うち支払利息)	61,398	0.3	0.9	0.7	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-2,053,725				
純損益	-2,053,725				
累積欠損金	7,075,419				
経常収支比率	92.5		93.0	94.3	
医業収支比率	85.5		83.9	89.6	
修正医業収支比率	84.2		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	87.7		81.6	87.1	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	29,254,742
1 固定資産	23,906,220
(1) 有形固定資産	22,828,825
(2) 無形固定資産	465,475
(3) 投資その他の資産	611,920
2 流動資産	5,348,522
(1) 現金及び預金	805,319
(2) 未収金及び未収収益	4,418,633
(3) 貸倒引当金( )	17,988
(4) 貯蔵品	135,388
3 繰延資産	-
負債合計	21,869,448
1 固定負債	9,311,012
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,111,406
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,199,606
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,953,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,342,963
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	709,717
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	3,700,000
(8) 未払金及び未払費用	2,115,519
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,605,137
(1) 長期前受金	24,117,941
(2) 長期前受金収益化累計額( )	19,512,804
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,385,294
1 本金	5,442,114
2 剰余金	1,943,180
(1) 資本剰余金	9,018,599
(2) 利益剰余金	-7,075,419
負債・資本合計	29,254,742
不良債務	1,261,814
実質資金不足額	1,261,814
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,368,539	1,327,319
資本勘定繰入	1,257,617	1,257,617
計	2,626,156	2,584,936

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	1,261,814	5.4
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.5
健全化法上の資金不足額(千円)	1,261,814
健全化法上の資金不足比率(%)	5.4
地財法上の資金不足額(千円)	1,261,814
地財法上の資金不足比率(%)	5.4

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		函館市			
病院名		市立函館病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,712 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	582	77.3	77.1	76.0
療養	-	-	-	-
結核	10	12.4	16.7	32.3
精神	50	-	-	-
感染症	6	-	0.7	3.6
計	648	69.7	69.5	68.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.8	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	143,481,696	
標準財政規模(千円)	71,748,218	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	38.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	24,029,572				
1 経常収益	23,394,789				
(1) 医業収益	21,536,244				
(うち修正医業収益)	21,118,841				
入院収益	15,000,258				
外来収益	5,852,231				
診療収入計	20,852,489				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	683,755				
(うち他会計負担金)	417,403				
(2) 医業外収益	1,858,545				
(うち国・都道府県補助金)	423,715				
(うち他会計補助・負担金)	837,868				
(うち長期前受金戻入)	318,428				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	634,783				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	23,887,277				
2 経常費用	23,886,371				
(1) 医業費用	22,338,497				
職員給与費	10,221,438	47.5	60.8	53.3	
材料費	7,648,799	35.5	27.1	33.0	
(うち薬品費)	4,078,021	18.9	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,449,904	16.0	11.8	14.1	
減価償却費	700,392	3.3	8.6	7.4	
経費	3,669,370	17.0	22.0	17.2	
(うち委託料)	2,422,663	11.2	11.8	10.2	
研究研修費	91,938				
資産減耗費	6,560				
(2) 医業外費用	1,547,874				
(うち支払利息)	154,083	0.7	0.9	0.7	
(3) 特別損失	906				
経常損益	-491,582				
純損益	142,295				
累積欠損金	3,703,128				
経常収支比率	97.9		93.0	94.3	
医業収支比率	96.4		83.9	89.6	
修正医業収支比率	94.5		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	92.7		81.6	87.1	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,615,046
1 固定資産	9,505,925
(1) 有形固定資産	8,954,571
(2) 無形固定資産	96,716
(3) 投資その他の資産	454,638
2 流動資産	7,109,121
(1) 現金及び預金	3,039,927
(2) 未収金及び未収収益	4,022,594
(3) 貸倒引当金( )	14,109
(4) 貯蔵品	60,249
3 繰延資産	-
負債合計	17,813,203
1 固定負債	12,174,964
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,740,505
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,762,239
(6) リース債務	672,220
2 流動負債	4,433,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,666,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	740,124
(6) リース債務	234,581
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,680,853
(9) 前受金及び前受収益	11,633
3 繰延収益	1,204,616
(1) 長期前受金	14,708,421
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,503,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,198,157
1 本金	2,799,168
2 剰余金	-3,997,325
(1) 資本剰余金	859,559
(2) 利益剰余金	-4,856,884
負債・資本合計	16,615,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,198,157
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,252,300	1,255,271
資本勘定繰入	994,804	1,003,813
計	2,247,104	2,259,084

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		函館市			
病院名		市立函館恵山病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,928 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	60	51.1	49.8	51.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	51.1	49.8	51.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	143,481,696	
標準財政規模(千円)	71,748,218	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	38.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	671,645			
1 経常収益	656,970			
(1) 医業収益	396,664			
(うち修正医業収益)	358,673			
入院収益	242,548			
外来収益	107,123			
診療収入計	349,671			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	46,993			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	260,306			
(うち国・都道府県補助金)	1,253			
(うち他会計補助・負担金)	250,233			
(うち長期前受金戻入)	7,544			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,675			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	653,666			
2 経常費用	653,666			
(1) 医業費用	630,300			
職員給与費	387,518	97.7	60.8	82.0
材料費	41,357	10.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	20,211	5.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,146	5.3	11.8	6.1
減価償却費	44,002	11.1	8.6	12.5
経費	156,797	39.5	22.0	34.4
(うち委託料)	70,743	17.8	11.8	16.9
研究研修費	595			
資産減耗費	31			
(2) 医業外費用	23,366			
(うち支払利息)	4,760	1.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	3,304			
純損益	17,979			
累積欠損金	402,330			
経常収支比率	100.5		93.0	93.1
医業収支比率	62.9		83.9	69.6
修正医業収支比率	56.9		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	43.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	72.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	42.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	56.4		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,615,046
1 固定資産	9,505,925
(1) 有形固定資産	8,954,571
(2) 無形固定資産	96,716
(3) 投資その他の資産	454,638
2 流動資産	7,109,121
(1) 現金及び預金	3,039,927
(2) 未収金及び未収収益	4,022,594
(3) 貸倒引当金( )	14,109
(4) 貯蔵品	60,249
3 繰延資産	-
負債合計	17,813,203
1 固定負債	12,174,964
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,740,505
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,762,239
(6) リース債務	672,220
2 流動負債	4,433,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,666,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	740,124
(6) リース債務	234,581
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,680,853
(9) 前受金及び前受収益	11,633
3 繰延収益	1,204,616
(1) 長期前受金	14,708,421
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,503,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,198,157
1 本金	2,799,168
2 剰余金	-3,997,325
(1) 資本剰余金	859,559
(2) 利益剰余金	-4,856,884
負債・資本合計	16,615,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,198,157
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	288,923	288,224
資本勘定繰入	19,097	19,929
計	308,020	308,153

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		函館市			
病院名		市立函館南茅部病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,898 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	37	44.9	47.0	65.6
療養	22	-	0.2	9.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	59	28.2	29.6	44.7
平均在院日数(一般病床のみ)		27.4	27.6	34.0

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	143,481,696	
標準財政規模(千円)	71,748,218	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	38.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	566,024			
1 経常収益	560,906			
(1) 医業収益	277,354			
(うち修正医業収益)	239,363			
入院収益	143,313			
外来収益	85,917			
診療収入計	229,230			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	48,124			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	283,552			
(うち国・都道府県補助金)	1,191			
(うち他会計補助・負担金)	279,591			
(うち長期前受金戻入)	384			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,118			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	601,852			
2 経常費用	601,852			
(1) 医業費用	586,321			
職員給与費	411,819	148.5	60.8	82.0
材料費	46,687	16.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	19,652	7.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,768	7.5	11.8	6.1
減価償却費	6,780	2.4	8.6	12.5
経費	120,207	43.3	22.0	34.4
(うち委託料)	58,945	21.3	11.8	16.9
研究研修費	828			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,531			
(うち支払利息)	315	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-40,946			
純損益	-35,828			
累積欠損金	751,426			
経常収支比率	93.2		93.0	93.1
医業収支比率	47.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	40.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	56.6		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	114.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	56.1		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	40.4		81.6	68.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,615,046
1 固定資産	9,505,925
(1) 有形固定資産	8,954,571
(2) 無形固定資産	96,716
(3) 投資その他の資産	454,638
2 流動資産	7,109,121
(1) 現金及び預金	3,039,927
(2) 未収金及び未収収益	4,022,594
(3) 貸倒引当金( )	14,109
(4) 貯蔵品	60,249
3 繰延資産	-
負債合計	17,813,203
1 固定負債	12,174,964
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,740,505
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,762,239
(6) リース債務	672,220
2 流動負債	4,433,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,666,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	740,124
(6) リース債務	234,581
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,680,853
(9) 前受金及び前受収益	11,633
3 繰延収益	1,204,616
(1) 長期前受金	14,708,421
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,503,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,198,157
1 本金	2,799,168
2 剰余金	-3,997,325
(1) 資本剰余金	859,559
(2) 利益剰余金	-4,856,884
負債・資本合計	16,615,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,198,157
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,854	317,582
資本勘定繰入	4,770	5,499
計	310,624	323,081

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	小樽市				
病院名	小樽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,984 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	302	86.2	88.6	84.8
療養	-	-	-	-
結核	4	37.8	50.8	33.1
精神	80	69.4	70.7	65.0
感染症	2	37.3	29.6	24.1
計	388	82.0	84.2	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	13.6	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	111,299	
決算規模(千円)	65,401,001	
標準財政規模(千円)	32,181,088	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.6
	将来負担比率(%)	26.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,417,751			
1 経常収益	12,416,299			
(1) 医業収益	11,319,541			
(うち修正医業収益)	10,790,065			
入院収益	7,379,335			
外来収益	3,243,763			
診療収入計	10,623,098			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	696,443			
(うち他会計負担金)	529,476			
(2) 医業外収益	1,096,758			
(うち国・都道府県補助金)	30,290			
(うち他会計補助・負担金)	729,569			
(うち長期前受金戻入)	94,934			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,452			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,513,213			
2 経常費用	13,510,276			
(1) 医業費用	12,821,943			
職員給与費	6,451,135	57.0	60.8	61.3
材料費	3,179,931	28.1	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,616,041	14.3	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,563,890	13.8	11.8	11.2
減価償却費	869,093	7.7	8.6	8.5
経費	2,266,672	20.0	22.0	21.8
(うち委託料)	1,230,506	10.9	11.8	11.9
研究研修費	45,159			
資産減耗費	9,953			
(2) 医業外費用	688,333			
(うち支払利息)	42,274	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	2,937			
経常損益	-1,093,977			
純損益	-1,095,462			
累積欠損金	14,235,458			
経常収支比率	91.9		93.0	92.2
医業収支比率	88.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	84.2		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	82.6		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,467,580
1 固定資産	9,352,651
(1) 有形固定資産	9,275,546
(2) 無形固定資産	1,175
(3) 投資その他の資産	75,930
2 流動資産	2,114,929
(1) 現金及び預金	335,759
(2) 未収金及び未収収益	1,719,750
(3) 貸倒引当金( )	1,569
(4) 貯蔵品	60,989
3 繰延資産	-
負債合計	15,772,380
1 固定負債	12,244,066
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,909,983
(2) その他の企業債	667,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,666,087
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,576,961
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	821,941
(2) その他の企業債	66,068
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	361,953
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	845,648
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	951,353
(1) 長期前受金	2,262,941
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,311,588
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-4,304,800
1 本金	9,071,901
2 剰余金	-13,376,701
(1) 資本剰余金	858,757
(2) 利益剰余金	-14,235,458
負債・資本合計	11,467,580
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	4,304,800
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,353,447
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,215,907	1,259,045
資本勘定繰入	397,011	482,433
計	1,612,918	1,741,478

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	125.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	308,087
地財法上の資金不足比率(%)	2.7

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	旭川市		
病院名	市立旭川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透I訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	43,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	372	52.5	52.3	48.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	66.7	65.3	44.4
感染症	9	0.5	1.5	9.6
計	481	54.5	54.0	46.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.0	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	329,306	
決算規模(千円)	182,744,530	
標準財政規模(千円)	86,037,239	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	84.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,069,944			
1 経常収益	11,682,575			
(1) 医業収益	10,135,171			
(うち修正医業収益)	9,937,872			
入院収益	6,381,240			
外来収益	3,343,299			
診療収入計	9,724,539			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	410,632			
(うち他会計負担金)	197,299			
(2) 医業外収益	1,547,404			
(うち国・都道府県補助金)	23,559			
(うち他会計補助・負担金)	813,443			
(うち長期前受金戻入)	563,046			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	387,369			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,449,766			
2 経常費用	13,449,766			
(1) 医業費用	13,071,350			
職員給与費	6,781,778	66.9	60.8	58.1
材料費	3,272,860	32.3	27.1	29.1
(うち薬品費)	2,190,171	21.6	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,082,689	10.7	11.8	12.7
減価償却費	873,501	8.6	8.6	8.1
経費	2,060,555	20.3	22.0	18.7
(うち委託料)	1,240,455	12.2	11.8	10.4
研究研修費	47,158			
資産減耗費	35,498			
(2) 医業外費用	378,416			
(うち支払利息)	19,796	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,767,191			
純損益	-1,379,822			
累積欠損金	13,884,119			
経常収支比率	86.9		93.0	93.4
医業収支比率	77.5		83.9	87.3
修正医業収支比率	76.0		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	79.3		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,670,032
1 固定資産	9,385,146
(1) 有形固定資産	8,370,294
(2) 無形固定資産	1,771
(3) 投資その他の資産	1,013,081
2 流動資産	2,284,886
(1) 現金及び預金	61,745
(2) 未収金及び未収収益	2,022,366
(3) 貸倒引当金( )	20,038
(4) 貯蔵品	220,647
3 繰延資産	-
負債合計	15,628,745
1 固定負債	10,312,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,680,116
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,632,633
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,447,634
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,455,815
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	503,921
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,350,000
(8) 未払金及び未払費用	1,099,284
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	868,362
(1) 長期前受金	10,572,786
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,704,424
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-3,958,713
1 資本金	9,925,406
2 剰余金	-13,884,119
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-13,884,119
負債・資本合計	11,670,032
不良債務	706,933
実質資金不足額	706,933
資本不足額( )	3,958,713
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,090,351
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,010,742	1,010,742
資本勘定繰入	810,274	833,240
計	1,821,016	1,843,982

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	706,933	7.0
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	137.0
健全化法上の資金不足額(千円)	706,935
健全化法上の資金不足比率(%)	6.9
地財法上の資金不足額(千円)	706,935
地財法上の資金不足比率(%)	6.9

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	室蘭市		
病院名	総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,036 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災輪
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	379	59.5	67.6	66.7
療養	-	-	-	-
結核	24	6.5	10.0	10.6
精神	120	53.9	65.3	60.4
感染症	4	-	-	-
計	527	55.4	64.0	62.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	19.6	21.5

設立団体の状況		
人口(人)	82,383	
決算規模(千円)	45,594,390	
標準財政規模(千円)	23,192,215	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	58.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,362,243			
1 経常収益	8,361,519			
(1) 医業収益	7,457,354			
(うち修正医業収益)	7,266,249			
入院収益	5,397,192			
外来収益	1,712,871			
診療収入計	7,110,063			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	347,291			
(うち他会計負担金)	191,105			
(2) 医業外収益	904,165			
(うち国・都道府県補助金)	18,891			
(うち他会計補助・負担金)	746,399			
(うち長期前受金戻入)	53,733			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	724			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,173,001			
2 経常費用	10,154,707			
(1) 医業費用	9,745,101			
職員給与費	5,711,355	76.6	60.8	53.3
材料費	1,604,301	21.5	27.1	33.0
(うち薬品費)	696,428	9.3	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	898,032	12.0	11.8	14.1
減価償却費	505,924	6.8	8.6	7.4
経費	1,866,509	25.0	22.0	17.2
(うち委託料)	987,014	13.2	11.8	10.2
研究研修費	24,308			
資産減耗費	32,704			
(2) 医業外費用	409,606			
(うち支払利息)	57,555	0.8	0.9	0.7
(3) 特別損失	18,294			
経常損益	-1,793,188			
純損益	-1,810,758			
累積欠損金	18,406,592			
経常収支比率	82.3		93.0	94.3
医業収支比率	76.5		83.9	89.6
修正医業収支比率	74.6		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	73.1		81.6	87.1

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,425,140
1 固定資産	7,039,757
(1) 有形固定資産	6,946,670
(2) 無形固定資産	2,894
(3) 投資その他の資産	90,193
2 流動資産	1,385,383
(1) 現金及び預金	81,260
(2) 未収金及び未収収益	1,259,897
(3) 貸倒引当金( )	15,297
(4) 貯蔵品	59,523
3 繰延資産	-
負債合計	8,581,972
1 固定負債	4,063,199
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,938,265
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,124,934
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,239,323
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	991,313
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	317,706
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	2,170,000
(8) 未払金及び未払費用	712,050
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	279,450
(1) 長期前受金	897,183
(2) 長期前受金収益化累計額( )	617,733
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-156,832
1 資本金	18,249,760
2 剰余金	-18,406,592
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-18,406,592
負債・資本合計	8,425,140
不良債務	1,862,627
実質資金不足額	1,862,627
資本不足額( )	156,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	906,012	937,504
資本勘定繰入	676,887	681,774
計	1,582,899	1,619,278

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	1,862,627	25.0
令和5年度	138,028	1.7
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	246.8
健全化法上の資金不足額(千円)	691,901
健全化法上の資金不足比率(%)	9.2
地財法上の資金不足額(千円)	1,862,627
地財法上の資金不足比率(%)	24.9

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	釧路市				
病院名	市立釧路総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	46,688 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	535	74.1	75.6	72.2
療養	-	-	-	-
結核	10	8.7	23.9	8.5
精神	50	60.4	53.5	38.7
感染症	4	-	-	-
計	599	71.4	72.4	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.2	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	165,077	
決算規模(千円)	105,952,748	
標準財政規模(千円)	50,233,501	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	38.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,886,762			
1 経常収益	18,809,673			
(1) 医業収益	17,057,697			
(うち修正医業収益)	16,746,259			
入院収益	11,249,639			
外来収益	5,329,168			
診療収入計	16,578,807			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	478,890			
(うち他会計負担金)	311,438			
(2) 医業外収益	1,751,976			
(うち国・都道府県補助金)	361,872			
(うち他会計補助・負担金)	1,025,301			
(うち長期前受金戻入)	181,868			
(うち資本費繰入収益)	13,169			
(3) 特別利益	77,089			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,249,012			
2 経常費用	20,103,804			
(1) 医業費用	18,881,473			
職員給与費	8,660,191	50.8	60.8	53.3
材料費	5,370,587	31.5	27.1	33.0
(うち薬品費)	3,040,911	17.8	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,316,336	13.6	11.8	14.1
減価償却費	1,171,756	6.9	8.6	7.4
経費	3,635,240	21.3	22.0	17.2
(うち委託料)	2,291,354	13.4	11.8	10.2
研究研修費	43,260			
資産減耗費	439			
(2) 医業外費用	1,222,331			
(うち支払利息)	98,856	0.6	0.9	0.7
(3) 特別損失	145,208			
経常損益	-1,294,131			
純損益	-1,362,250			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.6		93.0	94.3
医業収支比率	90.3		83.9	89.6
修正医業収支比率	88.7		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	86.9		81.6	87.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	19,963,118
1 固定資産	11,982,901
(1) 有形固定資産	11,130,698
(2) 無形固定資産	4,478
(3) 投資その他の資産	847,725
2 流動資産	7,980,217
(1) 現金及び預金	4,608,681
(2) 未収金及び未収収益	3,241,864
(3) 貸倒引当金( )	7,500
(4) 貯蔵品	92,142
3 繰延資産	-
負債合計	17,314,904
1 固定負債	12,260,587
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,765,466
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,495,121
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,991,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,201,774
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	631,627
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,940,392
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,062,661
(1) 長期前受金	4,714,660
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,651,999
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,648,214
1 資本金	1,288,219
2 剰余金	1,359,995
(1) 資本剰余金	109,596
(2) 利益剰余金	1,250,399
負債・資本合計	19,963,118
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,334,613	1,336,739
資本勘定繰入	656,399	213,169
計	1,991,012	1,549,908

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	北見市		
病院名	北見市国民健康保険常呂病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	115,480	
決算規模(千円)	81,655,772	
標準財政規模(千円)	37,707,337	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	98.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	153.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	394			
1 経常収益	394			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	394			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	394			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	394			
2 経常費用	394			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	394			
(うち支払利息)	394	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	394
資本勘定繰入	-	6,812
計	-	7,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,927 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	365	61.0	56.1	55.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	115	48.1	53.1	60.6
感染症	4	-	-	-
計	484	57.4	55.0	56.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.2	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	48,993,967	
標準財政規模(千円)	25,193,281	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	80.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	11,239,596				
1 経常収益	11,239,596				
(1) 医業収益	10,367,491				
(うち修正医業収益)	10,044,009				
入院収益	5,098,664				
外来収益	4,753,994				
診療収入計	9,852,658				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	514,833				
(うち他会計負担金)	323,482				
(2) 医業外収益	872,105				
(うち国・都道府県補助金)	14,159				
(うち他会計補助・負担金)	692,514				
(うち長期前受金戻入)	57,675				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	12,380,645				
2 経常費用	12,368,965				
(1) 医業費用	11,675,014				
職員給与費	5,342,975	51.5	60.8	58.1	
材料費	3,714,228	35.8	27.1	29.1	
(うち薬品費)	2,705,608	26.1	14.8	15.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	992,399	9.6	11.8	12.7	
減価償却費	429,689	4.1	8.6	8.1	
経費	2,130,581	20.6	22.0	18.7	
(うち委託料)	959,430	9.3	11.8	10.4	
研究研修費	37,160				
資産減耗費	20,381				
(2) 医業外費用	693,951				
(うち支払利息)	25,095	0.2	0.9	0.9	
(3) 特別損失	11,680				
経常損益	-1,129,369				
純損益	-1,141,049				
累積欠損金	4,017,287				
経常収支比率	90.9		93.0	93.4	
医業収支比率	88.8		83.9	87.3	
修正医業収支比率	86.0		81.0	84.5	
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.2	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.3	11.0	
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.3	9.8	
実質収益対経常費用比率	82.7		81.6	84.3	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,496,379
1 固定資産	5,629,219
(1) 有形固定資産	5,391,387
(2) 無形固定資産	5,583
(3) 投資その他の資産	232,249
2 流動資産	2,867,160
(1) 現金及び預金	949,241
(2) 未収金及び未収収益	1,882,608
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	35,183
3 繰延資産	-
負債合計	7,383,432
1 固定負債	4,672,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,375,199
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,296,852
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,896,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,869
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	387,103
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,050,585
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	815,012
(1) 長期前受金	1,668,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	853,786
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,112,947
1 本金	4,827,066
2 剰余金	-3,714,119
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-3,846,678
負債・資本合計	8,496,379
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,015,996	1,015,996
資本勘定繰入	286,087	280,856
計	1,302,083	1,296,852

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	栗沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,174 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	85	87.3	69.7	48.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	85	87.3	69.7	48.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	48,993,967	
標準財政規模(千円)	25,193,281	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	80.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	943,328			
1 経常収益	933,670			
(1) 医業収益	796,051			
(うち修正医業収益)	704,040			
入院収益	564,063			
外来収益	122,323			
診療収入計	686,386			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	109,665			
(うち他会計負担金)	92,011			
(2) 医業外収益	137,619			
(うち国・都道府県補助金)	339			
(うち他会計補助・負担金)	127,137			
(うち長期前受金戻入)	2,971			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,658			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	889,758			
2 経常費用	889,758			
(1) 医業費用	853,191			
職員給与費	490,276	61.6	60.8	82.0
材料費	151,715	19.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	105,749	13.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,490	5.5	11.8	6.1
減価償却費	23,374	2.9	8.6	12.5
経費	186,652	23.4	22.0	34.4
(うち委託料)	78,050	9.8	11.8	16.9
研究研修費	1,174			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	36,567			
(うち支払利息)	500	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	43,912			
純損益	53,570			
累積欠損金	1,270,812			
経常収支比率	104.9		93.0	93.1
医業収支比率	93.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	82.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	27.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	23.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	80.3		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,496,379
1 固定資産	5,629,219
(1) 有形固定資産	5,391,387
(2) 無形固定資産	5,583
(3) 投資その他の資産	232,249
2 流動資産	2,867,160
(1) 現金及び預金	949,241
(2) 未収金及び未収収益	1,882,608
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	35,183
3 繰延資産	-
負債合計	7,383,432
1 固定負債	4,672,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,375,199
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,296,852
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,896,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,869
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	387,103
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,050,585
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	815,012
(1) 長期前受金	1,668,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	853,786
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,112,947
1 本金	4,827,066
2 剰余金	-3,714,119
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-3,846,678
負債・資本合計	8,496,379
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,148	219,148
資本勘定繰入	14,240	-
計	233,388	219,148

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	留萌市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,146 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	144	43.8	47.9	51.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	148	36.0	39.3	42.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	12.6	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	20,114	
決算規模(千円)	16,670,670	
標準財政規模(千円)	7,733,621	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,198,928			
1 経常収益	5,188,434			
(1) 医業収益	3,784,101			
(うち修正医業収益)	3,398,595			
入院収益	2,053,852			
外来収益	1,209,046			
診療収入計	3,262,898			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	521,203			
(うち他会計負担金)	385,506			
(2) 医業外収益	1,404,333			
(うち国・都道府県補助金)	29,675			
(うち他会計補助・負担金)	832,433			
(うち長期前受金戻入)	199,742			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,494			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,169,387			
2 経常費用	6,169,237			
(1) 医業費用	5,867,678			
職員給与費	2,700,885	71.4	60.8	69.3
材料費	799,996	21.1	27.1	18.4
(うち薬品費)	417,439	11.0	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	380,415	10.1	11.8	9.1
減価償却費	415,905	11.0	8.6	10.8
経費	1,926,650	50.9	22.0	29.9
(うち委託料)	1,030,288	27.2	11.8	13.7
研究研修費	19,044			
資産減耗費	5,198			
(2) 医業外費用	301,559			
(うち支払利息)	48,296	1.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	150			
経常損益	-980,803			
純損益	-970,459			
累積欠損金	11,715,231			
経常収支比率	84.1		93.0	91.6
医業収支比率	64.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	57.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.5		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	32.2		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	64.4		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,171,726
1 固定資産	4,381,866
(1) 有形固定資産	4,379,892
(2) 無形固定資産	1,858
(3) 投資その他の資産	116
2 流動資産	789,860
(1) 現金及び預金	215,079
(2) 未収金及び未収収益	549,740
(3) 貸倒引当金( )	4,084
(4) 貯蔵品	29,095
3 繰延資産	-
負債合計	6,903,970
1 固定負債	3,913,760
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,950,488
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	963,272
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,052,220
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	642,826
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	169,734
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	780,000
(8) 未払金及び未払費用	424,182
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	937,990
(1) 長期前受金	2,178,408
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,240,418
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,732,244
1 資本金	8,509,003
2 剰余金	-10,241,247
(1) 資本剰余金	1,473,984
(2) 利益剰余金	-11,715,231
負債・資本合計	5,171,726
不良債務	619,534
実質資金不足額	619,534
資本不足額( )	1,732,244
資本不足額(繰延収益控除後)( )	794,254
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	942,629	1,217,939
資本勘定繰入	373,229	391,593
計	1,315,858	1,609,532

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	619,534	16.4
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	309.6
健全化法上の資金不足額(千円)	619,534
健全化法上の資金不足比率(%)	16.3
地財法上の資金不足額(千円)	619,534
地財法上の資金不足比率(%)	16.3

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	苫小牧市				
病院名	苫小牧市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,323 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	378	66.4	61.5	51.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	2.1	12.2	218.6
計	382	65.8	61.0	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	9.5	9.2

設立団体の状況		
人口(人)	170,113	
決算規模(千円)	92,068,012	
標準財政規模(千円)	42,592,327	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	79.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,427,426			
1 経常収益	11,401,626			
(1) 医業収益	9,732,868			
(うち修正医業収益)	9,237,758			
入院収益	6,202,087			
外来収益	2,680,411			
診療収入計	8,882,498			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	850,370			
(うち他会計負担金)	495,110			
(2) 医業外収益	1,668,758			
(うち国・都道府県補助金)	34,729			
(うち他会計補助・負担金)	928,370			
(うち長期前受金戻入)	597,184			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,800			
(うち他会計繰入金)	25,800			
総費用	12,405,024			
2 経常費用	12,368,679			
(1) 医業費用	11,783,042			
職員給与費	5,629,325	57.8	60.8	61.3
材料費	2,244,010	23.1	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,093,856	11.2	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,071,163	11.0	11.8	11.2
減価償却費	937,700	9.6	8.6	8.5
経費	2,923,117	30.0	22.0	21.8
(うち委託料)	1,372,928	14.1	11.8	11.9
研究研修費	40,858			
資産減耗費	8,032			
(2) 医業外費用	585,637			
(うち支払利息)	137,052	1.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	36,345			
損益	-967,053			
純損益	-977,598			
累積欠損金	6,636,286			
経常収支比率	92.2		93.0	92.2
医業収支比率	82.6		83.9	84.6
修正医業収支比率	78.4		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	80.7		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,673,143
1 固定資産	7,254,838
(1) 有形固定資産	6,862,401
(2) 無形固定資産	12,184
(3) 投資その他の資産	380,253
2 流動資産	2,418,305
(1) 現金及び預金	716,383
(2) 未収金及び未収収益	1,622,280
(3) 貸倒引当金( )	10,010
(4) 貯蔵品	89,652
3 繰延資産	-
負債合計	12,061,698
1 固定負債	8,852,291
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,401,107
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,380,832
(6) リース債務	70,352
2 流動負債	2,075,997
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	879,209
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	387,095
(6) リース債務	29,404
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	727,434
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,133,410
(1) 長期前受金	8,717,340
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,583,930
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,388,555
1 本金	4,188,458
2 剰余金	-6,577,013
(1) 資本剰余金	59,273
(2) 利益剰余金	-6,636,286
負債・資本合計	9,673,143
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,388,555
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,255,145
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,394,144	1,449,280
資本勘定繰入	514,033	514,033
計	1,908,177	1,963,313

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	稚内市		
病院名	稚内病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	20,356 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	258	47.7	48.0	42.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	70	27.2	26.7	30.9
感染症	4	-	1.0	112.6
計	332	42.8	43.0	41.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	9.5	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	29,651,956	
標準財政規模(千円)	12,877,071	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	45.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,625,206			
1 経常収益	6,622,350			
(1) 医業収益	5,399,226			
(うち修正医業収益)	5,130,766			
入院収益	2,735,311			
外来収益	2,275,799			
診療収入計	5,011,110			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	388,116			
(うち他会計負担金)	268,460			
(2) 医業外収益	1,223,124			
(うち国・都道府県補助金)	36,823			
(うち他会計補助・負担金)	1,111,708			
(うち長期前受金戻入)	47,220			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,856			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,796,685			
2 経常費用	7,765,124			
(1) 医業費用	7,422,295			
職員給与費	3,777,560	70.0	60.8	61.3
材料費	1,546,247	28.6	27.1	26.2
(うち薬品費)	907,641	16.8	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	638,606	11.8	11.8	11.2
減価償却費	439,731	8.1	8.6	8.5
経費	1,612,045	29.9	22.0	21.8
(うち委託料)	668,676	12.4	11.8	11.9
研究研修費	37,305			
資産減耗費	9,407			
(2) 医業外費用	342,829			
(うち支払利息)	10,806	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	31,561			
経常損益	-1,142,774			
純損益	-1,171,479			
累積欠損金	10,885,926			
経常収支比率	85.3		93.0	92.2
医業収支比率	72.7		83.9	84.6
修正医業収支比率	69.1		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	25.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	20.8		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	67.5		81.6	82.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,679,460
1 固定資産	5,333,173
(1) 有形固定資産	4,852,506
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	477,388
2 流動資産	1,346,287
(1) 現金及び預金	247,004
(2) 未収金及び未収収益	867,633
(3) 貸倒引当金( )	3,132
(4) 貯蔵品	1,150
3 繰延資産	-
負債合計	6,183,827
1 固定負債	4,348,067
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,437,893
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,830,804
(6) リース債務	79,370
2 流動負債	1,455,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	449,263
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,749
(6) リース債務	18,454
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	473,619
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	380,567
(1) 長期前受金	1,275,218
(2) 長期前受金収益化累計額( )	894,651
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	495,633
1 本金	10,576,863
2 剰余金	-10,081,230
(1) 資本剰余金	1,051,126
(2) 利益剰余金	-11,132,356
負債・資本合計	6,679,460
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,377,839	1,380,168
資本勘定繰入	212,515	301,424
計	1,590,354	1,681,592

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	205.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	稚内市		
病院名	稚内こまどり病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,570 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	1	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	45	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	29,651,956	
標準財政規模(千円)	12,877,071	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	45.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	106,705			
1 経常収益	106,655			
(1) 医業収益	29,230			
(うち修正医業収益)	29,230			
入院収益	-			
外来収益	24,753			
診療収入計	24,753			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	4,477			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	77,425			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	77,037			
(うち長期前受金戻入)	246			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	50			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	100,322			
2 経常費用	100,282			
(1) 医業費用	96,980			
職員給与費	54,502	186.5	60.8	92.5
材料費	2,183	7.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	1,469	5.0	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	714	2.4	11.8	5.8
減価償却費	2,023	6.9	8.6	13.4
経費	38,246	130.8	22.0	47.6
(うち委託料)	16,470	56.3	11.8	23.6
研究研修費	26			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,302			
(うち支払利息)	24	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	40			
損益	6,373			
純損益	6,383			
累積欠損金	246,430			
経常収支比率	106.4		93.0	95.6
医業収支比率	30.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	30.1		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	72.2		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	263.6		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	72.2		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	29.5		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,679,460
1 固定資産	5,333,173
(1) 有形固定資産	4,852,506
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	477,388
2 流動資産	1,346,287
(1) 現金及び預金	247,004
(2) 未収金及び未収収益	867,633
(3) 貸倒引当金( )	3,132
(4) 貯蔵品	1,150
3 繰延資産	-
負債合計	6,183,827
1 固定負債	4,348,067
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,437,893
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,830,804
(6) リース債務	79,370
2 流動負債	1,455,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	449,263
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,749
(6) リース債務	18,454
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	473,619
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	380,567
(1) 長期前受金	1,275,218
(2) 長期前受金収益化累計額( )	894,651
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	495,633
1 本金	10,576,863
2 剰余金	-10,081,230
(1) 資本剰余金	1,051,126
(2) 利益剰余金	-11,132,356
負債・資本合計	6,679,460
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	77,035	77,037
資本勘定繰入	1,745	2,602
計	78,780	79,639

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	205.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美唄市				
病院名	市立美唄病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,501 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	43	50.2	37.1	30.8
療養	32	64.0	39.7	47.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	56.1	38.3	38.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	16.8	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	20,413	
決算規模(千円)	19,086,104	
標準財政規模(千円)	8,852,030	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	74.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,647,669			
1 経常収益	1,633,038			
(1) 医業収益	1,195,181			
(うち修正医業収益)	945,612			
入院収益	451,729			
外来収益	442,437			
診療収入計	894,166			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	301,015			
(うち他会計負担金)	249,569			
(2) 医業外収益	437,857			
(うち国・都道府県補助金)	40,876			
(うち他会計補助・負担金)	350,415			
(うち長期前受金戻入)	41,165			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,631			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,942,513			
2 経常費用	1,787,290			
(1) 医業費用	1,727,765			
職員給与費	962,143	80.5	60.8	82.0
材料費	152,069	12.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	74,533	6.2	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,331	5.3	11.8	6.1
減価償却費	224,709	18.8	8.6	12.5
経費	386,384	32.3	22.0	34.4
(うち委託料)	84,962	7.1	11.8	16.9
研究研修費	2,397			
資産減耗費	63			
(2) 医業外費用	59,525			
(うち支払利息)	675	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	155,223			
経常損益	-154,252			
純損益	-294,844			
累積欠損金	2,549,553			
経常収支比率	91.4		93.0	93.1
医業収支比率	69.2		83.9	69.6
修正医業収支比率	54.7		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	50.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	36.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	57.8		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	6,808,521
1 固定資産	5,707,406
(1) 有形固定資産	5,229,123
(2) 無形固定資産	522
(3) 投資その他の資産	477,761
2 流動資産	1,101,115
(1) 現金及び預金	901,867
(2) 未収金及び未収収益	196,675
(3) 貸倒引当金( )	190
(4) 貯蔵品	2,763
3 繰延資産	-
負債合計	6,435,228
1 固定負債	4,789,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,111,811
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	677,856
(6) リース債務	-
2 流動負債	597,970
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	159,006
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	81,789
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	354,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,047,591
(1) 長期前受金	1,115,623
(2) 長期前受金収益化累計額( )	68,032
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	373,293
1 本金	2,917,025
2 剰余金	-2,543,732
(1) 資本剰余金	5,821
(2) 利益剰余金	-2,549,553
負債・資本合計	6,808,521
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	533,612	599,984
資本勘定繰入	119,893	157,465
計	653,505	757,449

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	213.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	芦別市				
病院名	芦別病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,574 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	57.3	59.6	73.7
療養	39	40.6	58.9	61.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	50.7	59.3	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	24.5	26.7

設立団体の状況		
人口(人)	12,555	
決算規模(千円)	12,471,279	
標準財政規模(千円)	6,303,994	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	74.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,758,080			
1 経常収益	1,642,964			
(1) 医業収益	1,251,179			
(うち修正医業収益)	1,070,264			
入院収益	554,780			
外来収益	466,183			
診療収入計	1,020,963			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	230,216			
(うち他会計負担金)	180,915			
(2) 医業外収益	391,785			
(うち国・都道府県補助金)	4,073			
(うち他会計補助・負担金)	309,920			
(うち長期前受金戻入)	60,736			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	115,116			
(うち他会計繰入金)	100,000			
総費用	1,899,812			
2 経常費用	1,894,973			
(1) 医業費用	1,829,634			
職員給与費	1,027,973	82.2	60.8	82.0
材料費	174,493	13.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	82,745	6.6	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,748	7.3	11.8	6.1
減価償却費	102,902	8.2	8.6	12.5
経費	520,699	41.6	22.0	34.4
(うち委託料)	205,895	16.5	11.8	16.9
研究研修費	1,893			
資産減耗費	1,674			
(2) 医業外費用	65,339			
(うち支払利息)	2,287	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	4,839			
経常損益	-252,009			
純損益	-141,732			
累積欠損金	1,298,386			
経常収支比率	86.7		93.0	93.1
医業収支比率	68.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	58.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	39.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	33.6		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	60.8		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,664,735
1 固定資産	1,446,649
(1) 有形固定資産	1,359,195
(2) 無形固定資産	1,583
(3) 投資その他の資産	85,871
2 流動資産	218,086
(1) 現金及び預金	15,436
(2) 未収金及び未収収益	202,181
(3) 貸倒引当金( )	163
(4) 貯蔵品	418
3 繰延資産	-
負債合計	1,587,243
1 固定負債	244,821
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,287
(2) その他の企業債	87,534
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	662,755
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	124,778
(2) その他の企業債	8,753
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	68,876
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	360,000
(8) 未払金及び未払費用	90,877
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	679,667
(1) 長期前受金	3,501,562
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,821,895
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	77,492
1 本金	1,219,906
2 剰余金	-1,142,414
(1) 資本剰余金	155,972
(2) 利益剰余金	-1,298,386
負債・資本合計	1,664,735
不良債務	319,891
実質資金不足額	319,891
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	477,773	590,835
資本勘定繰入	34,630	41,404
計	512,403	632,239

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	319,891	25.6
令和5年度	193,678	14.6
令和4年度	205,419	13.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.8
健全化法上の資金不足額(千円)	51,635
健全化法上の資金不足比率(%)	4.1
地財法上の資金不足額(千円)	407,425
地財法上の資金不足比率(%)	32.5

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	江別市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,989 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨が 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	278	53.4	54.1	54.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	59	54.3	51.6	41.0
感染症	-	-	-	-
計	337	53.5	53.7	51.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.9	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	121,056	
決算規模(千円)	56,219,272	
標準財政規模(千円)	28,199,510	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,652,702			
1 経常収益	6,652,702			
(1) 医業収益	5,361,216			
(うち修正医業収益)	4,994,749			
入院収益	3,263,273			
外来収益	1,508,687			
診療収入計	4,771,960			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	589,256			
(うち他会計負担金)	366,467			
(2) 医業外収益	1,291,486			
(うち国・都道府県補助金)	8,690			
(うち他会計補助・負担金)	866,650			
(うち長期前受金戻入)	73,621			
(うち資本費繰入収益)	318,014			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,479,240			
2 経常費用	7,432,029			
(1) 医業費用	7,137,079			
職員給与費	3,986,997	74.4	60.8	61.3
材料費	884,850	16.5	27.1	26.2
(うち薬品費)	380,855	7.1	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	500,750	9.3	11.8	11.2
減価償却費	565,188	10.5	8.6	8.5
経費	1,675,154	31.2	22.0	21.8
(うち委託料)	782,119	14.6	11.8	11.9
研究研修費	22,258			
資産減耗費	2,632			
(2) 医業外費用	294,950			
(うち支払利息)	55,210	1.0	0.9	0.9
(3) 特別損失	47,211			
損益	-779,327			
純損益	-826,538			
累積欠損金	1,301,164			
経常収支比率	89.5		93.0	92.2
医業収支比率	75.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	70.0		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	18.5		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	18.5		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	72.9		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,777,620
1 固定資産	7,717,350
(1) 有形固定資産	7,677,740
(2) 無形固定資産	852
(3) 投資その他の資産	38,758
2 流動資産	1,060,270
(1) 現金及び預金	263,672
(2) 未収金及び未収収益	782,610
(3) 貸倒引当金( )	16,947
(4) 貯蔵品	30,935
3 繰延資産	-
負債合計	9,814,500
1 固定負債	6,089,636
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,115,210
(2) その他の企業債	507,258
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,467,168
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,342,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	845,832
(2) その他の企業債	50,170
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	41,687
(5) 引当金	296,733
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,700,000
(8) 未払金及び未払費用	372,133
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	382,196
(1) 長期前受金	689,539
(2) 長期前受金収益化累計額( )	307,343
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,036,880
1 資本金	217,706
2 剰余金	-1,254,586
(1) 資本剰余金	46,578
(2) 利益剰余金	-1,301,164
負債・資本合計	8,777,620
不良債務	1,436,566
実質資金不足額	1,436,566
資本不足額( )	1,036,880
資本不足額(繰延収益控除後)( )	654,684
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,121,202	1,233,117
資本勘定繰入	355,606	372,111
計	1,476,808	1,605,228

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	1,436,566	26.8
令和5年度	694,750	12.2
令和4年度	361,728	5.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	1,943,824
地財法上の資金不足比率(%)	36.2

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	赤平市				
病院名	あかびら市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,451 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	77.0	77.0	73.5
療養	60	79.7	77.4	76.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	78.3	77.2	74.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	11.3	11.6

人	口(人)	
決算規模(千円)	10,719,856	
標準財政規模(千円)	5,089,092	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	43.3

区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	2,300,219			
1 経常収益	2,293,544			
(1) 医業収益	1,871,967			
(うち修正医業収益)	1,585,577			
入院収益	1,059,778			
外来収益	458,346			
診療収入計	1,518,124			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	353,843			
(うち他会計負担金)	286,390			
(2) 医業外収益	421,577			
(うち国・都道府県補助金)	772			
(うち他会計補助・負担金)	232,757			
(うち長期前受金戻入)	173,354			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,675			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,440,858			
2 経常費用	2,336,450			
(1) 医業費用	2,267,986			
職員給与費	1,177,108	62.9	60.8	69.3
材料費	207,770	11.1	27.1	18.4
(うち薬品費)	103,093	5.5	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	103,920	5.6	11.8	9.1
減価償却費	278,125	14.9	8.6	10.8
経費	597,318	31.9	22.0	29.9
(うち委託料)	273,104	14.6	11.8	13.7
研究研修費	6,770			
資産減耗費	895			
(2) 医業外費用	68,464			
(うち支払利息)	5,036	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	104,408			
損益	-42,906			
純損益	-140,639			
累積欠損金	952,379			
経常収支比率	98.2		93.0	91.6
医業収支比率	82.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	69.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	27.7		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	22.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	75.9		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	6,281,147
1 固定資産	4,467,049
(1) 有形固定資産	4,280,506
(2) 無形固定資産	819
(3) 投資その他の資産	185,724
2 流動資産	1,814,098
(1) 現金及び預金	1,550,838
(2) 未収金及び未収収益	259,518
(3) 貸倒引当金( )	1,106
(4) 貯蔵品	4,848
3 繰延資産	-
負債合計	4,905,970
1 固定負債	2,486,492
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	942,624
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,543,868
(6) リース債務	-
2 流動負債	577,758
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	353,492
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,602
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	126,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,841,720
(1) 長期前受金	3,716,493
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,874,773
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,375,177
1 資本金	2,101,697
2 剰余金	-726,520
(1) 資本剰余金	225,859
(2) 利益剰余金	-952,379
負債・資本合計	6,281,147
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	494,063	519,147
資本勘定繰入	179,580	181,048
計	673,643	700,195

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

項目	比率(%)
累積欠損金比率(%)	50.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		士別市			
病院名		士別市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	79.4	84.7	76.3
療養	79	81.0	61.5	73.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	129	80.4	71.1	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	20.5	24.0

設立団体の状況		
人口(人)	17,858	
決算規模(千円)	17,764,468	
標準財政規模(千円)	10,288,911	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.9
	将来負担比率(%)	92.6

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	3,338,825				
1 経常収益	3,320,295				
(1) 医業収益	2,371,033				
(うち修正医業収益)	2,194,540				
入院収益	1,232,921				
外来収益	799,644				
診療収入計	2,032,565				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	338,468				
(うち他会計負担金)	176,493				
(2) 医業外収益	949,262				
(うち国・都道府県補助金)	979				
(うち他会計補助・負担金)	696,208				
(うち長期前受金戻入)	206,103				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	18,530				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,632,788				
2 経常費用	3,631,233				
(1) 医業費用	3,524,742				
職員給与費	1,896,564	80.0	60.8	69.3	
材料費	329,486	13.9	27.1	18.4	
(うち薬品費)	131,269	5.5	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,096	7.0	11.8	9.1	
減価償却費	318,026	13.4	8.6	10.8	
経費	963,685	40.6	22.0	29.9	
(うち委託料)	448,054	18.9	11.8	13.7	
研究研修費	12,742				
資産減耗費	4,239				
(2) 医業外費用	106,491				
(うち支払利息)	4,322	0.2	0.9	1.0	
(3) 特別損失	1,555				
経常損益	-310,938				
純損益	-293,963				
累積欠損金	1,563,533				
経常収支比率	91.4		93.0	91.6	
医業収支比率	67.3		83.9	77.4	
修正医業収支比率	62.3		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	26.3		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	36.8		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	67.4		81.6	75.4	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,706,113
1 固定資産	2,209,168
(1) 有形固定資産	2,070,938
(2) 無形固定資産	1,882
(3) 投資その他の資産	136,348
2 流動資産	496,945
(1) 現金及び預金	75,956
(2) 未収金及び未収収益	408,551
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	12,438
3 繰延資産	-
負債合計	3,651,120
1 固定負債	1,128,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,104,821
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	23,696
2 流動負債	643,622
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	213,532
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,943
(6) リース債務	13,132
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	160,702
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,878,981
(1) 長期前受金	3,746,917
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,867,936
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-945,007
1 資本金	149,059
2 剰余金	-1,094,066
(1) 資本剰余金	469,467
(2) 利益剰余金	-1,563,533
負債・資本合計	2,706,113
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	945,007
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	692,887	872,701
資本勘定繰入	120,089	120,089
計	812,976	992,790

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	名寄市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,784 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	300	58.6	61.5	62.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	55	81.4	75.2	71.0
感染症	4	-	-	-
計	359	61.4	62.9	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.6	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	27,282	
決算規模(千円)	25,785,069	
標準財政規模(千円)	12,959,215	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	21.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,232,804			
1 経常収益	9,043,265			
(1) 医業収益	8,026,599			
(うち修正医業収益)	7,647,072			
入院収益	5,157,118			
外来収益	2,368,205			
診療収入計	7,525,323			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	501,276			
(うち他会計負担金)	379,527			
(2) 医業外収益	1,016,666			
(うち国・都道府県補助金)	119,041			
(うち他会計補助・負担金)	545,966			
(うち長期前受金戻入)	130,033			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	189,539			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,213,966			
2 経常費用	10,184,615			
(1) 医業費用	9,726,805			
職員給与費	5,654,273	70.4	60.8	61.3
材料費	2,161,059	26.9	27.1	26.2
(うち薬品費)	830,927	10.4	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,240,586	15.5	11.8	11.2
減価償却費	596,954	7.4	8.6	8.5
経費	1,282,185	16.0	22.0	21.8
(うち委託料)	459,248	5.7	11.8	11.9
研究研修費	29,854			
資産減耗費	2,480			
(2) 医業外費用	457,810			
(うち支払利息)	34,623	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	29,351			
損益	-1,141,350			
純損益	-981,162			
累積欠損金	6,658,297			
経常収支比率	88.8		93.0	92.2
医業収支比率	82.5		83.9	84.6
修正医業収支比率	78.6		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	79.7		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,827,098
1 固定資産	9,602,672
(1) 有形固定資産	9,424,469
(2) 無形固定資産	33,873
(3) 投資その他の資産	144,330
2 流動資産	2,224,426
(1) 現金及び預金	592,362
(2) 未収金及び未収収益	1,536,597
(3) 貸倒引当金( )	3,092
(4) 貯蔵品	98,059
3 繰延資産	-
負債合計	8,702,595
1 固定負債	4,398,319
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,634,021
(2) その他の企業債	14,442
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	747,863
(6) リース債務	1,993
2 流動負債	2,473,713
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	648,024
(2) その他の企業債	13,479
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	408,195
(6) リース債務	652
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	759,843
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,830,563
(1) 長期前受金	3,264,968
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,434,405
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,124,503
1 本金	8,742,319
2 剰余金	-5,617,816
(1) 資本剰余金	798,501
(2) 利益剰余金	-6,416,317
負債・資本合計	11,827,098
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	954,578	925,493
資本勘定繰入	318,432	308,432
計	1,273,010	1,233,925

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	名寄市		
病院名	名寄東病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	105	50.1	83.1	85.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	50.1	83.1	85.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	27,282
決算規模(千円)	25,785,069
標準財政規模(千円)	12,959,215
財政力指数	0.27
経常収支比率(%)	97.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.9
将来負担比率(%)	21.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	659,201			
1 経常収益	659,201			
(1) 医業収益	368,316			
(うち修正医業収益)	368,316			
入院収益	317,526			
外来収益	36,931			
診療収入計	354,457			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	13,859			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	290,885			
(うち国・都道府県補助金)	494			
(うち他会計補助・負担金)	281,317			
(うち長期前受金戻入)	8,150			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	665,998			
2 経常費用	665,998			
(1) 医業費用	636,147			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	24,077	6.5	8.6	10.8
経費	612,070	166.2	22.0	29.9
(うち委託料)	241,927	65.7	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,851			
(うち支払利息)	96	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-6,797			
純損益	-6,797			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.0		93.0	91.6
医業収支比率	57.9		83.9	77.4
修正医業収支比率	57.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	42.7		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	76.4		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	42.7		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	56.7		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,827,098
1 固定資産	9,602,672
(1) 有形固定資産	9,424,469
(2) 無形固定資産	33,873
(3) 投資その他の資産	144,330
2 流動資産	2,224,426
(1) 現金及び預金	592,362
(2) 未収金及び未収収益	1,536,597
(3) 貸倒引当金( )	3,092
(4) 貯蔵品	98,059
3 繰延資産	-
負債合計	8,702,595
1 固定負債	4,398,319
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,634,021
(2) その他の企業債	14,442
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	747,863
(6) リース債務	1,993
2 流動負債	2,473,713
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	648,024
(2) その他の企業債	13,479
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	408,195
(6) リース債務	652
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	759,843
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,830,563
(1) 長期前受金	3,264,968
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,434,405
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,124,503
1 本金	8,742,319
2 剰余金	-5,617,816
(1) 資本剰余金	798,501
(2) 利益剰余金	-6,416,317
負債・資本合計	11,827,098
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	281,317	281,317
資本勘定繰入	41,718	41,718
計	323,035	323,035

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	三笠市				
病院名	三笠総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,780 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	45	59.0	28.8	54.1
療養	43	76.2	73.8	70.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	67.4	29.1	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	14.3	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	8,040	
決算規模(千円)	13,722,632	
標準財政規模(千円)	5,138,249	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	26.0

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,798,916				
1 経常収益	1,605,916				
(1) 医業収益	1,014,591				
(うち修正医業収益)	842,083				
入院収益	570,286				
外来収益	247,559				
診療収入計	817,845				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	196,746				
(うち他会計負担金)	172,508				
(2) 医業外収益	591,325				
(うち国・都道府県補助金)	22,344				
(うち他会計補助・負担金)	495,664				
(うち長期前受金戻入)	21,887				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	193,000				
(うち他会計繰入金)	193,000				
総費用	2,045,671				
2 経常費用	1,959,069				
(1) 医業費用	1,949,602				
職員給与費	842,673	83.1	60.8	82.0	
材料費	168,637	16.6	27.1	14.2	
(うち薬品費)	62,902	6.2	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	87,446	8.6	11.8	6.1	
減価償却費	138,195	13.6	8.6	12.5	
経費	797,159	78.6	22.0	34.4	
(うち委託料)	291,279	28.7	11.8	16.9	
研究研修費	2,440				
資産減耗費	498				
(2) 医業外費用	9,467				
(うち支払利息)	1,266	0.1	0.9	1.2	
(3) 特別損失	86,602				
経常損益	-353,153				
純損益	-246,755				
累積欠損金	1,742,451				
経常収支比率	82.0		93.0	93.1	
医業収支比率	52.0		83.9	69.6	
修正医業収支比率	43.2		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	41.6		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	65.9		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	47.9		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	47.9		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,263,637
1 固定資産	1,008,834
(1) 有形固定資産	1,002,508
(2) 無形固定資産	246
(3) 投資その他の資産	6,080
2 流動資産	254,803
(1) 現金及び預金	66,557
(2) 未収金及び未収収益	184,183
(3) 貸倒引当金( )	178
(4) 貯蔵品	4,241
3 繰延資産	-
負債合計	1,739,500
1 固定負債	1,094,952
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	379,398
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	711,730
(6) リース債務	-
2 流動負債	304,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,565
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,597
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	115,450
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	340,458
(1) 長期前受金	2,093,506
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,753,048
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-475,863
1 資本金	1,188,144
2 剰余金	-1,664,007
(1) 資本剰余金	78,444
(2) 利益剰余金	-1,742,451
負債・資本合計	1,263,637
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	475,863
資本不足額(繰延収益控除後)( )	135,405
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	251,270	861,172
資本勘定繰入	31,863	78,857
計	283,133	940,029

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	171.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	根室市		
病院名	根室病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	13,281 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救感災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	131	58.1	56.1	57.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	19.7	95.4
計	135	56.3	55.0	59.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	13.3	15.7

設立団体の状況	
人口(人)	24,636
決算規模(千円)	46,205,035
標準財政規模(千円)	9,328,375
財政力指数	0.34
経常収支比率(%)	89.3
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.6 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,033,952			
1 経常収益	4,959,638			
(1) 医業収益	2,913,390			
(うち修正医業収益)	2,781,328			
入院収益	1,294,645			
外来収益	1,396,838			
診療収入計	2,691,483			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	221,907			
(うち他会計負担金)	132,062			
(2) 医業外収益	2,046,248			
(うち国・都道府県補助金)	1,420			
(うち他会計補助・負担金)	1,711,547			
(うち長期前受金戻入)	296,668			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	74,314			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,014,718			
2 経常費用	5,014,718			
(1) 医業費用	4,787,895			
職員給与費	2,132,399	73.2	60.8	69.3
材料費	902,807	31.0	27.1	18.4
(うち薬品費)	578,201	19.8	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	324,606	11.1	11.8	9.1
減価償却費	296,668	10.2	8.6	10.8
経費	1,388,466	47.7	22.0	29.9
(うち委託料)	508,883	17.5	11.8	13.7
研究研修費	35,689			
資産減耗費	31,866			
(2) 医業外費用	226,823			
(うち支払利息)	10,360	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-55,080			
純損益	19,234			
累積欠損金	2,733,877			
経常収支比率	98.9		93.0	91.6
医業収支比率	60.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	58.1		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	63.3		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	36.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	62.1		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,175,465
1 固定資産	3,420,466
(1) 有形固定資産	3,400,885
(2) 無形固定資産	742
(3) 投資その他の資産	18,839
2 流動資産	754,999
(1) 現金及び預金	131,036
(2) 未収金及び未収収益	597,054
(3) 貸倒引当金( )	8,291
(4) 貯蔵品	31,363
3 繰延資産	-
負債合計	6,382,455
1 固定負債	3,612,634
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,812,868
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	775,113
(6) リース債務	24,653
2 流動負債	953,364
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	296,144
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	141,380
(6) リース債務	24,653
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	258,822
(9) 前受金及び前受収益	102,007
3 繰延収益	1,816,457
(1) 長期前受金	2,683,887
(2) 長期前受金収益化累計額( )	867,430
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,206,990
1 資本金	335,757
2 剰余金	-2,542,747
(1) 資本剰余金	191,130
(2) 利益剰余金	-2,733,877
負債・資本合計	4,175,465
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,206,990
資本不足額(繰延収益控除後)( )	390,533
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,176,185	1,843,609
資本勘定繰入	154,893	310,609
計	1,331,078	2,154,218

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	千歳市				
病院名	千歳市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,590 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	190	62.9	66.9	63.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	190	62.9	66.9	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		8.2	8.6	8.6

設立団体の状況		
人口(人)	97,950	
決算規模(千円)	63,064,314	
標準財政規模(千円)	26,860,545	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,576,859			
1 経常収益	6,571,059			
(1) 医業収益	5,826,450			
(うち修正医業収益)	5,309,521			
入院収益	3,156,024			
外来収益	1,846,524			
診療収入計	5,002,548			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	823,902			
(うち他会計負担金)	516,929			
(2) 医業外収益	744,609			
(うち国・都道府県補助金)	14,382			
(うち他会計補助・負担金)	622,707			
(うち長期前受金戻入)	84,914			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,119,229			
2 経常費用	7,115,937			
(1) 医業費用	6,813,664			
職員給与費	3,714,250	63.7	60.8	69.3
材料費	1,277,078	21.9	27.1	18.4
(うち薬品費)	649,658	11.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	627,420	10.8	11.8	9.1
減価償却費	483,713	8.3	8.6	10.8
経費	1,313,711	22.5	22.0	29.9
(うち委託料)	568,006	9.7	11.8	13.7
研究研修費	19,554			
資産減耗費	5,358			
(2) 医業外費用	302,273			
(うち支払利息)	62,997	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	3,292			
経常損益	-544,878			
純損益	-542,370			
累積欠損金	3,392,307			
経常収支比率	92.3		93.0	91.6
医業収支比率	85.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	77.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.3		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	76.3		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,240,728
1 固定資産	5,661,290
(1) 有形固定資産	5,379,195
(2) 無形固定資産	1,881
(3) 投資その他の資産	280,214
2 流動資産	1,579,438
(1) 現金及び預金	631,344
(2) 未収金及び未収収益	899,886
(3) 貸倒引当金( )	1,082
(4) 貯蔵品	49,290
3 繰延資産	-
負債合計	6,896,841
1 固定負債	5,053,106
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,632,136
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,420,970
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,516,973
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	750,275
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,322
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	493,974
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	326,762
(1) 長期前受金	686,339
(2) 長期前受金収益化累計額( )	359,577
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	343,887
1 資本金	3,633,367
2 剰余金	-3,289,480
(1) 資本剰余金	102,827
(2) 利益剰余金	-3,392,307
負債・資本合計	7,240,728
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,164,265	1,139,636
資本勘定繰入	415,378	-
計	1,579,643	1,139,636

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	滝川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,080 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	270	55.4	56.6	57.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	44	47.1	51.7	47.8
感染症	-	-	-	-
計	314	54.3	55.9	56.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	17.0	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	39,490	
決算規模(千円)	24,380,705	
標準財政規模(千円)	12,209,946	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	1.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,269,184			
1 経常収益	6,269,184			
(1) 医業収益	5,161,914			
(うち修正医業収益)	5,012,282			
入院収益	3,059,291			
外来収益	1,820,243			
診療収入計	4,879,534			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	282,380			
(うち他会計負担金)	149,632			
(2) 医業外収益	1,107,270			
(うち国・都道府県補助金)	14,686			
(うち他会計補助・負担金)	706,017			
(うち長期前受金戻入)	52,133			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,356,672			
2 経常費用	7,109,277			
(1) 医業費用	6,652,933			
職員給与費	3,694,219	71.6	60.8	61.3
材料費	1,180,771	22.9	27.1	26.2
(うち薬品費)	428,301	8.3	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	690,774	13.4	11.8	11.2
減価償却費	580,349	11.2	8.6	8.5
経費	1,174,690	22.8	22.0	21.8
(うち委託料)	529,153	10.3	11.8	11.9
研究研修費	22,557			
資産減耗費	347			
(2) 医業外費用	456,344			
(うち支払利息)	120,899	2.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	247,395			
損益	-840,093			
純損益	-1,087,488			
累積欠損金	4,068,480			
経常収支比率	88.2		93.0	92.2
医業収支比率	77.6		83.9	84.6
修正医業収支比率	75.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	76.1		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,990,679
1 固定資産	5,872,566
(1) 有形固定資産	5,717,658
(2) 無形固定資産	2,069
(3) 投資その他の資産	152,839
2 流動資産	1,118,113
(1) 現金及び預金	332,331
(2) 未収金及び未収収益	774,408
(3) 貸倒引当金( )	2,412
(4) 貯蔵品	11,756
3 繰延資産	-
負債合計	9,133,673
1 固定負債	7,163,791
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,327,159
(2) その他の企業債	289,004
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	547,628
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,275,730
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	509,187
(2) その他の企業債	30,421
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,575
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	459,297
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	694,152
(1) 長期前受金	1,102,242
(2) 長期前受金収益化累計額( )	408,090
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,142,994
1 資本金	1,316,316
2 剰余金	-3,459,310
(1) 資本剰余金	234,170
(2) 利益剰余金	-3,693,480
負債・資本合計	6,990,679
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,142,994
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,448,842
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,109,109	855,649
資本勘定繰入	275,791	239,122
計	1,384,900	1,094,771

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	78.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	砂川市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	53,186 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	408	66.4	64.8	65.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	29.2	20.7
精神	80	38.7	32.8	57.2
感染症	4	-	7.9	11.7
計	492	61.3	58.8	62.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.2	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	16,486	
決算規模(千円)	18,058,770	
標準財政規模(千円)	7,425,510	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	41.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,037,991			
1 経常収益	14,029,879			
(1) 医業収益	12,395,245			
(うち修正医業収益)	12,146,305			
入院収益	8,341,748			
外来収益	3,543,873			
診療収入計	11,885,621			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	509,624			
(うち他会計負担金)	248,940			
(2) 医業外収益	1,634,634			
(うち国・都道府県補助金)	56,663			
(うち他会計補助・負担金)	1,304,539			
(うち長期前受金戻入)	127,806			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,112			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,686,764			
2 経常費用	15,644,974			
(1) 医業費用	15,390,621			
職員給与費	7,884,152	63.6	60.8	58.1
材料費	3,752,643	30.3	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,806,464	14.6	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,840,993	14.9	11.8	12.7
減価償却費	1,066,303	8.6	8.6	8.1
経費	2,627,022	21.2	22.0	18.7
(うち委託料)	1,156,470	9.3	11.8	10.4
研究研修費	54,675			
資産減耗費	5,826			
(2) 医業外費用	254,353			
(うち支払利息)	72,309	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	41,790			
経常損益	-1,615,095			
純損益	-1,648,773			
累積欠損金	10,974,536			
経常収支比率	89.7		93.0	93.4
医業収支比率	80.5		83.9	87.3
修正医業収支比率	78.9		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	11.1		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	79.7		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	14,657,097
1 固定資産	12,280,994
(1) 有形固定資産	11,775,858
(2) 無形固定資産	3,362
(3) 投資その他の資産	501,774
2 流動資産	2,376,103
(1) 現金及び預金	554,817
(2) 未収金及び未収収益	1,813,167
(3) 貸倒引当金( )	2,202
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	14,476,583
1 固定負債	10,197,386
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,192,867
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,519
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,765,631
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	978,265
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	554,783
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	469,637
(9) 前受金及び前受収益	3,436
3 繰延収益	1,513,566
(1) 長期前受金	2,570,283
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,056,717
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	180,514
1 本金	9,853,170
2 剰余金	-9,672,656
(1) 資本剰余金	409,506
(2) 利益剰余金	-10,082,162
負債・資本合計	14,657,097
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,449,126	1,553,479
資本勘定繰入	465,718	399,658
計	2,914,844	1,953,137

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	歌志内市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,998 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	60	70.0	71.2	72.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	70.0	71.2	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,989
決算規模(千円)	4,456,650
標準財政規模(千円)	2,377,427
財政力指数	0.11
経常収支比率(%)	98.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	7.9
	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	570,808			
1 経常収益	566,524			
(1) 医業収益	333,668			
(うち修正医業収益)	333,668			
入院収益	235,346			
外来収益	67,274			
診療収入計	302,620			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	31,048			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	232,856			
(うち国・都道府県補助金)	192			
(うち他会計補助・負担金)	225,716			
(うち長期前受金戻入)	5,667			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,284			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	628,911			
2 経常費用	628,911			
(1) 医業費用	598,287			
職員給与費	292,295	87.6	60.8	82.0
材料費	41,661	12.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	17,392	5.2	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,202	5.8	11.8	6.1
減価償却費	33,829	10.1	8.6	12.5
経費	228,403	68.5	22.0	34.4
(うち委託料)	82,211	24.6	11.8	16.9
研究研修費	981			
資産減耗費	1,118			
(2) 医業外費用	30,624			
(うち支払利息)	3,668	1.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-62,387			
純損益	-58,103			
累積欠損金	851,710			
経常収支比率	90.1		93.0	93.1
医業収支比率	55.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	55.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.8		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	67.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	39.5		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	54.2		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,158,075
1 固定資産	527,779
(1) 有形固定資産	527,515
(2) 無形固定資産	264
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	630,296
(1) 現金及び預金	578,200
(2) 未収金及び未収収益	49,409
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,687
3 繰延資産	-
負債合計	563,533
1 固定負債	356,136
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,136
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	126,154
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,938
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,966
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,944
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	81,243
(1) 長期前受金	155,314
(2) 長期前受金収益化累計額( )	74,071
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	594,542
1 資本金	1,433,753
2 剰余金	-839,211
(1) 資本剰余金	12,499
(2) 利益剰余金	-851,710
負債・資本合計	1,158,075
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	213,694	225,716
資本勘定繰入	18,971	18,971
計	232,665	244,687

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	255.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	深川市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	191	70.9	65.9	57.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	53.5	56.8	56.6
計	195	70.6	65.8	57.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	15.1	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	20,039	
決算規模(千円)	20,110,318	
標準財政規模(千円)	9,618,310	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	85.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.8
	将来負担比率(%)	118.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,414,808			
1 経常収益	4,412,002			
(1) 医業収益	3,828,072			
(うち修正医業収益)	3,745,968			
入院収益	2,245,928			
外来収益	1,356,220			
診療収入計	3,602,148			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	225,924			
(うち他会計負担金)	82,104			
(2) 医業外収益	583,930			
(うち国・都道府県補助金)	11,106			
(うち他会計補助・負担金)	498,498			
(うち長期前受金戻入)	11,908			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,806			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,026,602			
2 経常費用	4,999,991			
(1) 医業費用	4,733,081			
職員給与費	2,568,599	67.1	60.8	69.3
材料費	715,312	18.7	27.1	18.4
(うち薬品費)	422,547	11.0	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	292,765	7.6	11.8	9.1
減価償却費	394,463	10.3	8.6	10.8
経費	1,032,329	27.0	22.0	29.9
(うち委託料)	472,403	12.3	11.8	13.7
研究研修費	16,554			
資産減耗費	5,824			
(2) 医業外費用	266,910			
(うち支払利息)	88,077	2.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	26,611			
経常損益	-587,989			
純損益	-611,794			
累積欠損金	9,672,600			
経常収支比率	88.2		93.0	91.6
医業収支比率	80.9		83.9	77.4
修正医業収支比率	79.1		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	76.6		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,964,592
1 固定資産	4,893,008
(1) 有形固定資産	4,794,760
(2) 無形固定資産	1,863
(3) 投資その他の資産	96,385
2 流動資産	1,071,584
(1) 現金及び預金	384,849
(2) 未収金及び未収収益	630,020
(3) 貸倒引当金( )	1,375
(4) 貯蔵品	58,066
3 繰延資産	-
負債合計	5,687,132
1 固定負債	4,478,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,449,951
(2) その他の企業債	28,784
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,061,689
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	582,606
(2) その他の企業債	5,754
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	176,190
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	273,249
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	146,708
(1) 長期前受金	298,149
(2) 長期前受金収益化累計額( )	151,441
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	277,460
1 本金	9,051,851
2 剰余金	-8,774,391
(1) 資本剰余金	898,209
(2) 利益剰余金	-9,672,600
負債・資本合計	5,964,592
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	543,686	580,602
資本勘定繰入	404,331	404,331
計	948,017	984,933

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	252.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	松前町				
病院名	松前病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,060 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	52.9	54.4	53.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	52.9	54.4	53.3
平均在院日数(一般病床のみ)		27.3	23.0	23.5

設立団体の状況	
人口(人)	6,260
決算規模(千円)	6,570,180
標準財政規模(千円)	3,826,563
財政力指数	0.18
経常収支比率(%)	87.3
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 7.4 15.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,339,540			
1 経常収益	1,326,646			
(1) 医業収益	972,609			
(うち修正医業収益)	936,315			
入院収益	527,478			
外来収益	362,506			
診療収入計	889,984			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	82,625			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	354,037			
(うち国・都道府県補助金)	2,119			
(うち他会計補助・負担金)	284,111			
(うち長期前受金戻入)	60,247			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,894			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,404,377			
2 経常費用	1,399,009			
(1) 医業費用	1,359,557			
職員給与費	855,143	87.9	60.8	82.0
材料費	136,486	14.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	70,044	7.2	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,442	6.8	11.8	6.1
減価償却費	99,813	10.3	8.6	12.5
経費	265,672	27.3	22.0	34.4
(うち委託料)	138,042	14.2	11.8	16.9
研究研修費	2,365			
資産減耗費	78			
(2) 医業外費用	39,452			
(うち支払利息)	1,118	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	5,368			
経常損益	-72,363			
純損益	-64,837			
累積欠損金	25,948			
経常収支比率	94.8		93.0	93.1
医業収支比率	71.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	68.9		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	32.9		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	23.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	71.9		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,760,447
1 固定資産	996,601
(1) 有形固定資産	944,740
(2) 無形固定資産	55
(3) 投資その他の資産	51,806
2 流動資産	763,846
(1) 現金及び預金	490,946
(2) 未収金及び未収収益	255,703
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	17,197
3 繰延資産	-
負債合計	926,295
1 固定負債	213,153
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	174,128
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	39,025
2 流動負債	161,687
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,871
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,832
(6) リース債務	16,871
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	551,455
(1) 長期前受金	1,708,660
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,157,205
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	834,152
1 資本金	646,298
2 剰余金	187,854
(1) 資本剰余金	210,480
(2) 利益剰余金	-22,626
負債・資本合計	1,760,447
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	330,246	320,405
資本勘定繰入	112,733	112,733
計	442,979	433,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	木古内町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,945 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	30.5	22.9	24.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	30.5	22.9	24.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	15.9	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,832	
決算規模(千円)	4,736,323	
標準財政規模(千円)	2,919,820	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.0
	将来負担比率(%)	47.7

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,253,096				
1 経常収益	1,250,789				
(1) 医業収益	859,064				
(うち修正医業収益)	815,039				
入院収益	386,239				
外来収益	387,394				
診療収入計	773,633				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	85,431				
(うち他会計負担金)	44,025				
(2) 医業外収益	391,725				
(うち国・都道府県補助金)	5,461				
(うち他会計補助・負担金)	285,130				
(うち長期前受金戻入)	89,319				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,307				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,429,797				
2 経常費用	1,429,642				
(1) 医業費用	1,371,697				
職員給与費	910,830	106.0	60.8	82.0	
材料費	128,724	15.0	27.1	14.2	
(うち薬品費)	62,709	7.3	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,015	7.7	11.8	6.1	
減価償却費	109,203	12.7	8.6	12.5	
経費	215,098	25.0	22.0	34.4	
(うち委託料)	105,136	12.2	11.8	16.9	
研究研修費	4,716				
資産減耗費	3,126				
(2) 医業外費用	57,945				
(うち支払利息)	14,426	1.7	0.9	1.2	
(3) 特別損失	155				
経常損益	-178,853				
純損益	-176,701				
累積欠損金	-				
経常収支比率	87.5		93.0	93.1	
医業収支比率	62.6		83.9	69.6	
修正医業収支比率	59.4		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	26.3		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	38.3		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	26.3		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	64.5		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,474,175
1 固定資産	2,306,335
(1) 有形固定資産	1,645,259
(2) 無形固定資産	4,607
(3) 投資その他の資産	656,469
2 流動資産	2,167,840
(1) 現金及び預金	1,987,368
(2) 未収金及び未収収益	126,271
(3) 貸倒引当金( )	827
(4) 貯蔵品	55,028
3 繰延資産	-
負債合計	1,919,087
1 固定負債	1,168,546
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,038,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,496
(6) リース債務	-
2 流動負債	249,674
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	93,396
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	100,601
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,479
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	500,867
(1) 長期前受金	2,455,414
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,954,547
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,555,088
1 資本金	327,194
2 剰余金	2,227,894
(1) 資本剰余金	57,903
(2) 利益剰余金	2,169,991
負債・資本合計	4,474,175
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	329,155	329,155
資本勘定繰入	32,667	32,667
計	361,822	361,822

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	森町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,984 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	39.5	38.8	36.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	39.5	38.8	36.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.4	21.9	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	14,338	
決算規模(千円)	13,558,265	
標準財政規模(千円)	6,307,109	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	919,450			
1 経常収益	918,484			
(1) 医業収益	506,359			
(うち修正医業収益)	470,065			
入院収益	277,198			
外来収益	159,151			
診療収入計	436,349			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	70,010			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	412,125			
(うち国・都道府県補助金)	5,293			
(うち他会計補助・負担金)	396,386			
(うち長期前受金戻入)	5,121			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	966			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	917,983			
2 経常費用	917,983			
(1) 医業費用	897,350			
職員給与費	611,410	120.7	60.8	82.0
材料費	60,445	11.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	29,509	5.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,848	4.3	11.8	6.1
減価償却費	48,035	9.5	8.6	12.5
経費	176,888	34.9	22.0	34.4
(うち委託料)	54,627	10.8	11.8	16.9
研究研修費	572			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	20,633			
(うち支払利息)	261	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	501			
純損益	1,467			
累積欠損金	1,557,812			
経常収支比率	100.1		93.0	93.1
医業収支比率	56.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	52.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	47.1		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	85.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	47.1		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	52.9		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,181,773
1 固定資産	794,924
(1) 有形固定資産	794,615
(2) 無形固定資産	309
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	386,849
(1) 現金及び預金	303,055
(2) 未収金及び未収収益	87,011
(3) 貸倒引当金( )	19,914
(4) 貯蔵品	16,697
(5) 繰延資産	-
負債合計	294,182
1 固定負債	139,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	133,417
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	6,406
2 流動負債	108,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,555
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	43,171
(6) リース債務	2,211
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,537
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	45,654
(1) 長期前受金	112,396
(2) 長期前受金収益化累計額( )	66,742
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	887,591
1 資本	2,445,013
2 剰余金	-1,557,422
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,557,422
負債・資本合計	1,181,773
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	432,680	432,680
資本勘定繰入	12,345	12,345
計	445,025	445,025

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	307.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	八雲町		
病院名	八雲総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,850 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	166	64.1	55.3	55.9
療養	40	68.1	67.5	62.6
結核	-	-	-	-
精神	100	54.2	67.7	75.4
感染症	4	-	16.5	54.0
計	310	60.6	60.1	62.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	17,193,548	
標準財政規模(千円)	8,398,927	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	86.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,745,949			
1 経常収益	4,590,465			
(1) 医業収益	3,667,689			
(うち修正医業収益)	3,553,560			
入院収益	2,297,799			
外来収益	1,130,974			
診療収入計	3,428,773			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	238,916			
(うち他会計負担金)	114,129			
(2) 医業外収益	922,776			
(うち国・都道府県補助金)	40,614			
(うち他会計補助・負担金)	796,245			
(うち長期前受金戻入)	58,006			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	155,484			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,494,668			
2 経常費用	5,337,609			
(1) 医業費用	5,150,734			
職員給与費	2,912,649	79.4	60.8	61.3
材料費	633,628	17.3	27.1	26.2
(うち薬品費)	273,996	7.5	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	301,913	8.2	11.8	11.2
減価償却費	403,351	11.0	8.6	8.5
経費	1,170,204	31.9	22.0	21.8
(うち委託料)	205,081	5.6	11.8	11.9
研究研修費	9,396			
資産減耗費	21,506			
(2) 医業外費用	186,875			
(うち支払利息)	26,126	0.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	157,059			
経常損	-747,144			
純損	-748,719			
累積欠損金	6,563,912			
経常収支比率	86.0		93.0	92.2
医業収支比率	71.2		83.9	84.6
修正医業収支比率	69.0		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	19.8		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	24.8		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	19.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	68.9		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,740,473
1 固定資産	8,560,292
(1) 有形固定資産	8,216,945
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	341,590
2 流動資産	4,180,181
(1) 現金及び預金	1,965,104
(2) 未収金及び未収収益	2,141,475
(3) 貸倒引当金( )	2,366
(4) 貯蔵品	75,968
3 繰延資産	-
負債合計	11,716,436
1 固定負債	7,209,961
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,211,112
(2) その他の企業債	636,642
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	359,157
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,429,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	430,485
(2) その他の企業債	132,882
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	211,896
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,615,673
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,077,433
(1) 長期前受金	2,835,119
(2) 長期前受金収益化累計額( )	757,686
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,024,037
1 本金	7,411,127
2 剰余金	-6,387,090
(1) 資本剰余金	1,093,437
(2) 利益剰余金	-7,480,527
負債・資本合計	12,740,473
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	882,000	910,374
資本勘定繰入	196,584	251,891
計	1,078,584	1,162,265

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	179.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	八雲町				
病院名	八雲町熊石国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,262 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	28.5	29.6	36.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	28.5	29.6	36.9
平均在院日数(一般病床のみ)		51.8	49.3	71.5

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	17,193,548	
標準財政規模(千円)	8,398,927	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	86.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	684,462			
1 経常収益	679,461			
(1) 医業収益	499,616			
(うち修正医業収益)	447,579			
入院収益	220,934			
外来収益	212,915			
診療収入計	433,849			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	65,767			
(うち他会計負担金)	52,037			
(2) 医業外収益	179,845			
(うち国・都道府県補助金)	456			
(うち他会計補助・負担金)	160,759			
(うち長期前受金戻入)	12,994			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,001			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	867,256			
2 経常費用	864,524			
(1) 医業費用	822,460			
職員給与費	493,784	98.8	60.8	82.0
材料費	150,493	30.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	123,733	24.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,760	5.4	11.8	6.1
減価償却費	41,217	8.2	8.6	12.5
経費	134,703	27.0	22.0	34.4
(うち委託料)	68,651	13.7	11.8	16.9
研究研修費	1,367			
資産減耗費	896			
(2) 医業外費用	42,064			
(うち支払利息)	5,241	1.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	2,732			
経常損益	-185,063			
純損益	-182,794			
累積欠損金	916,615			
経常収支比率	78.6		93.0	93.1
医業収支比率	60.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	54.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	31.3		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	42.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	31.1		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	54.0		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,740,473
1 固定資産	8,560,292
(1) 有形固定資産	8,216,945
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	341,590
2 流動資産	4,180,181
(1) 現金及び預金	1,965,104
(2) 未収金及び未収収益	2,141,475
(3) 貸倒引当金( )	2,366
(4) 貯蔵品	75,968
3 繰延資産	-
負債合計	11,716,436
1 固定負債	7,209,961
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,211,112
(2) その他の企業債	636,642
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	359,157
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,429,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	430,485
(2) その他の企業債	132,882
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	211,896
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,615,673
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,077,433
(1) 長期前受金	2,835,119
(2) 長期前受金収益化累計額( )	757,686
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,024,037
1 本金	7,411,127
2 剰余金	-6,387,090
(1) 資本剰余金	1,093,437
(2) 利益剰余金	-7,480,527
負債・資本合計	12,740,473
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,137	212,796
資本勘定繰入	10,708	21,957
計	219,845	234,753

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	179.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	長万部町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,669 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	48.2	42.9	37.3
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	26.8	23.8	20.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	21.0	20.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,109	
決算規模(千円)	7,049,717	
標準財政規模(千円)	3,344,105	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	37.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	699,189			
1 経常収益	699,189			
(1) 医業収益	310,104			
(うち修正医業収益)	250,892			
入院収益	119,980			
外来収益	96,319			
診療収入計	216,299			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	93,805			
(うち他会計負担金)	59,212			
(2) 医業外収益	389,085			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	379,229			
(うち長期前受金戻入)	3,463			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	698,225			
2 経常費用	698,225			
(1) 医業費用	695,394			
職員給与費	405,675	130.8	60.8	82.0
材料費	49,774	16.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	27,220	8.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,554	7.3	11.8	6.1
減価償却費	28,623	9.2	8.6	12.5
経費	210,069	67.7	22.0	34.4
(うち委託料)	96,770	31.2	11.8	16.9
研究研修費	899			
資産減耗費	354			
(2) 医業外費用	2,831			
(うち支払利息)	463	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	964			
純損益	964			
累積欠損金	539,321			
経常収支比率	100.1		93.0	93.1
医業収支比率	44.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	36.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	62.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	141.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	62.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	37.3		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	524,314
1 固定資産	423,387
(1) 有形固定資産	422,584
(2) 無形固定資産	803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	100,927
(1) 現金及び預金	67,347
(2) 未収金及び未収収益	30,448
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,132
3 繰延資産	-
負債合計	110,393
1 固定負債	36,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,431
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	15,972
2 流動負債	64,261
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,900
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,600
(6) リース債務	6,180
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,997
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	9,729
(1) 長期前受金	82,510
(2) 長期前受金収益化累計額( )	72,781
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	413,921
1 資本金	942,843
2 剰余金	-528,922
(1) 資本剰余金	10,399
(2) 利益剰余金	-539,321
負債・資本合計	524,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	438,441	438,441
資本勘定繰入	2,559	2,559
計	441,000	441,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	173.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	厚沢部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,455 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	45	38.8	36.3	29.9
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	69	25.3	23.7	19.5
平均在院日数(一般病床のみ)		46.2	38.1	30.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,592	
決算規模(千円)	5,428,529	
標準財政規模(千円)	3,120,887	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	78.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	512,112			
1 経常収益	512,112			
(1) 医業収益	280,594			
(うち修正医業収益)	223,795			
入院収益	114,684			
外来収益	77,254			
診療収入計	191,938			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,656			
(うち他会計負担金)	56,799			
(2) 医業外収益	231,518			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	193,495			
(うち長期前受金戻入)	35,957			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	512,049			
2 経常費用	512,049			
(1) 医業費用	508,986			
職員給与費	317,945	113.3	60.8	82.0
材料費	41,307	14.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	13,946	5.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,361	9.8	11.8	6.1
減価償却費	35,957	12.8	8.6	12.5
経費	113,322	40.4	22.0	34.4
(うち委託料)	67,580	24.1	11.8	16.9
研究研修費	192			
資産減耗費	263			
(2) 医業外費用	3,063			
(うち支払利息)	37	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	63			
純損益	63			
累積欠損金	350,392			
経常収支比率	100.0		93.0	93.1
医業収支比率	55.1		83.9	69.6
修正医業収支比率	44.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	48.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	89.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	48.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	51.1		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	599,392
1 固定資産	356,834
(1) 有形固定資産	356,719
(2) 無形固定資産	115
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	242,558
(1) 現金及び預金	97,102
(2) 未収金及び未収収益	142,641
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,815
3 繰延資産	-
負債合計	266,906
1 固定負債	16,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,066
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	58,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,467
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,103
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,958
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	192,053
(1) 長期前受金	947,558
(2) 長期前受金収益化累計額( )	755,505
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	332,486
1 本金	682,878
2 剰余金	-350,392
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-350,392
負債・資本合計	599,392
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,275	250,294
資本勘定繰入	6,019	12,038
計	256,294	262,332

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	124.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	乙部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,784 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	58	17.3	19.3	20.7
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	62	16.2	18.1	19.4
平均在院日数(一般病床のみ)		26.3	28.4	33.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,403	
決算規模(千円)	5,345,564	
標準財政規模(千円)	2,589,977	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	69.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	392,389			
1 経常収益	388,959			
(1) 医業収益	197,788			
(うち修正医業収益)	161,494			
入院収益	73,051			
外来収益	71,603			
診療収入計	144,654			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	53,134			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	191,171			
(うち国・都道府県補助金)	3,330			
(うち他会計補助・負担金)	149,314			
(うち長期前受金戻入)	17,002			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,430			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	431,370			
2 経常費用	431,370			
(1) 医業費用	410,289			
職員給与費	289,674	146.5	60.8	82.0
材料費	25,598	12.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	12,802	6.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,062	4.6	11.8	6.1
減価償却費	30,916	15.6	8.6	12.5
経費	60,702	30.7	22.0	34.4
(うち委託料)	21,597	10.9	11.8	16.9
研究研修費	3,259			
資産減耗費	140			
(2) 医業外費用	21,081			
(うち支払利息)	484	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-42,411			
純損失	-38,981			
累積欠損金	20,841			
経常収支比率	90.2		93.0	93.1
医業収支比率	48.2		83.9	69.6
修正医業収支比率	39.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	47.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	93.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	47.3		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	47.1		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	792,932
1 固定資産	385,541
(1) 有形固定資産	371,013
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	14,528
2 流動資産	407,391
(1) 現金及び預金	314,022
(2) 未収金及び未収収益	91,305
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,064
3 繰延資産	-
負債合計	297,189
1 固定負債	74,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,521
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	61,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,337
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,763
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,755
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	160,813
(1) 長期前受金	310,541
(2) 長期前受金収益化累計額( )	149,728
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	495,743
1 資本金	516,584
2 剰余金	-20,841
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-20,841
負債・資本合計	792,932
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	160,608	185,608
資本勘定繰入	16,784	16,784
計	177,392	202,392

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>				都道府県名 北海道
市町村・組合名	奥尻町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	3,236 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	17	53.1	62.0	50.1
療養	23	51.8	46.1	42.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	52.3	52.8	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	20.5	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,410	
決算規模(千円)	4,687,598	
標準財政規模(千円)	2,480,131	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	62.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	726,813			
1 経常収益	726,813			
(1) 医業収益	407,940			
(うち修正医業収益)	382,447			
入院収益	112,157			
外来収益	242,088			
診療収入計	354,245			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	53,695			
(うち他会計負担金)	25,493			
(2) 医業外収益	318,873			
(うち国・都道府県補助金)	439			
(うち他会計補助・負担金)	284,590			
(うち長期前受金戻入)	10,782			
(うち資本費繰入収益)	3,349			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	790,402			
2 経常費用	786,468			
(1) 医業費用	756,537			
職員給与費	442,129	108.4	60.8	92.5
材料費	137,198	33.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	103,621	25.4	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,381	6.2	11.8	5.8
減価償却費	42,277	10.4	8.6	13.4
経費	134,558	33.0	22.0	47.6
(うち委託料)	67,028	16.4	11.8	23.6
研究研修費	375			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,931			
(うち支払利息)	1,403	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	3,934			
損益	-59,655			
純損益	-63,589			
累積欠損金	738,144			
経常収支比率	92.4		93.0	95.6
医業収支比率	53.9		83.9	59.3
修正医業収支比率	50.6		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	42.7		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	76.0		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	42.7		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	53.0		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	530,905
1 固定資産	431,698
(1) 有形固定資産	428,970
(2) 無形固定資産	262
(3) 投資その他の資産	2,466
2 流動資産	99,207
(1) 現金及び預金	50,152
(2) 未収金及び未収収益	42,620
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,435
3 繰延資産	-
負債合計	307,107
1 固定負債	153,716
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,239
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	67,477
2 流動負債	85,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,879
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,712
(6) リース債務	10,100
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,564
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	68,105
(1) 長期前受金	351,147
(2) 長期前受金収益化累計額( )	283,042
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	223,798
1 資本金	961,942
2 剰余金	-738,144
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-738,144
負債・資本合計	530,905
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	310,083	310,083
資本勘定繰入	5,655	5,655
計	315,738	315,738

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	180.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	今金町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,003 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	33	61.4	70.3	68.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	33	61.4	70.3	68.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	13.4	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,072	
決算規模(千円)	6,337,419	
標準財政規模(千円)	3,814,747	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	79.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	782,691				
1 経常収益	782,691				
(1) 医業収益	396,123				
(うち修正医業収益)	350,519				
入院収益	218,858				
外来収益	101,066				
診療収入計	319,924				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	76,199				
(うち他会計負担金)	45,604				
(2) 医業外収益	386,568				
(うち国・都道府県補助金)	4,924				
(うち他会計補助・負担金)	364,004				
(うち長期前受金戻入)	12,982				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	779,114				
2 経常費用	779,114				
(1) 医業費用	763,425				
職員給与費	434,593	109.7	60.8	92.5	
材料費	56,443	14.2	27.1	14.2	
(うち薬品費)	23,168	5.8	14.8	7.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,330	8.2	11.8	5.8	
減価償却費	41,328	10.4	8.6	13.4	
経費	228,715	57.7	22.0	47.6	
(うち委託料)	119,827	30.2	11.8	23.6	
研究研修費	898				
資産減耗費	1,448				
(2) 医業外費用	15,689				
(うち支払利息)	423	0.1	0.9	0.9	
(3) 特別損失	-				
損益	3,577				
純損益	3,577				
累積欠損金	1,977				
経常収支比率	100.5		93.0	95.6	
医業収支比率	51.9		83.9	59.3	
修正医業収支比率	45.9		81.0	54.4	
他会計繰入金対経常収益比率	52.3		12.2	36.9	
他会計繰入金対医業収益比率	103.4		14.3	63.1	
他会計繰入金対総収益比率	52.3		12.3	36.8	
実質収益対経常費用比率	47.9		81.6	60.3	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,059,973
1 固定資産	581,173
(1) 有形固定資産	580,202
(2) 無形固定資産	251
(3) 投資その他の資産	720
2 流動資産	478,800
(1) 現金及び預金	30,775
(2) 未収金及び未収収益	420,392
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	7,103
3 繰延資産	-
負債合計	207,044
1 固定負債	78,009
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,009
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	75,827
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,349
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,166
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,050
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	53,208
(1) 長期前受金	181,206
(2) 長期前受金収益化累計額( )	127,998
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	852,929
1 資本金	760,290
2 剰余金	92,639
(1) 資本剰余金	29,922
(2) 利益剰余金	62,717
負債・資本合計	1,059,973
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	409,608	409,608
資本勘定繰入	-	-
計	409,608	409,608

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	せたな町		
病院名	せたな町立国保病院(病院事業分)		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,331 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	31.0	35.3	38.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	31.0	35.3	38.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	16.5	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	7,398	
決算規模(千円)	9,710,113	
標準財政規模(千円)	5,908,300	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,117,344			
1 経常収益	1,117,344			
(1) 医業収益	613,940			
(うち修正医業収益)	553,478			
入院収益	229,975			
外来収益	288,858			
診療収入計	518,833			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	95,107			
(うち他会計負担金)	60,462			
(2) 医業外収益	503,404			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	487,380			
(うち長期前受金戻入)	12,249			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,087,355			
2 経常費用	1,087,167			
(1) 医業費用	1,085,513			
職員給与費	635,531	103.5	60.8	82.0
材料費	95,321	15.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	67,790	11.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,531	4.5	11.8	6.1
減価償却費	64,252	10.5	8.6	12.5
経費	287,808	46.9	22.0	34.4
(うち委託料)	141,703	23.1	11.8	16.9
研究研修費	1,738			
資産減耗費	863			
(2) 医業外費用	1,654			
(うち支払利息)	92	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	188			
損益	30,177			
純損益	29,989			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.8		93.0	93.1
医業収支比率	56.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	51.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	49.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	89.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	49.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	52.4		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,134,986
1 固定資産	738,113
(1) 有形固定資産	722,993
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	15,120
2 流動資産	1,396,873
(1) 現金及び預金	1,289,728
(2) 未収金及び未収収益	103,036
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,109
3 繰延資産	-
負債合計	184,958
1 固定負債	28,763
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,763
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	81,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,325
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,821
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,965
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	75,075
(1) 長期前受金	378,411
(2) 長期前受金収益化累計額( )	303,336
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,950,028
1 資本金	1,648,266
2 剰余金	301,762
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	301,762
負債・資本合計	2,134,986
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	527,015	547,842
資本勘定繰入	10,866	14,768
計	537,881	562,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	黒松内町		
病院名	黒松内町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,791
決算規模(千円)	5,095,716
標準財政規模(千円)	2,689,111
財政力指数	0.14
経常収支比率(%)	83.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4			
1 経常収益	4			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	4			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4			
2 経常費用	4			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4			
(うち支払利息)	4	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	4
資本勘定繰入	-	463
計	-	467

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		南幌町			
病院名		国保町立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,043 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	55.3	61.3	66.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	55.3	61.3	66.8
平均在院日数(一般病床のみ)		45.5	53.1	61.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,319	
決算規模(千円)	8,150,099	
標準財政規模(千円)	3,634,367	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	128.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	741,806			
1 経常収益	741,806			
(1) 医業収益	516,683			
(うち修正医業収益)	469,014			
入院収益	305,750			
外来収益	131,720			
診療収入計	437,470			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	79,213			
(うち他会計負担金)	47,669			
(2) 医業外収益	225,123			
(うち国・都道府県補助金)	2,030			
(うち他会計補助・負担金)	192,500			
(うち長期前受金戻入)	19,917			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	720,510			
2 経常費用	720,510			
(1) 医業費用	700,596			
職員給与費	387,536	75.0	60.8	82.0
材料費	45,650	8.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	26,428	5.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,540	3.4	11.8	6.1
減価償却費	54,510	10.5	8.6	12.5
経費	211,997	41.0	22.0	34.4
(うち委託料)	85,374	16.5	11.8	16.9
研究研修費	534			
資産減耗費	369			
(2) 医業外費用	19,914			
(うち支払利息)	83	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	21,296			
純損益	21,296			
累積欠損金	490,218			
経常収支比率	103.0		93.0	93.1
医業収支比率	73.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	66.9		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	32.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	46.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	32.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	69.6		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,113,757
1 固定資産	498,686
(1) 有形固定資産	498,533
(2) 無形固定資産	153
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	615,071
(1) 現金及び預金	537,510
(2) 未収金及び未収収益	75,400
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,161
3 繰延資産	-
負債合計	325,170
1 固定負債	77,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,662
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	110,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,373
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,859
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,048
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	136,595
(1) 長期前受金	615,621
(2) 長期前受金収益化累計額( )	479,026
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	788,587
1 資本金	1,278,805
2 剰余金	-490,218
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-490,218
負債・資本合計	1,113,757
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,169	240,169
資本勘定繰入	26,719	26,720
計	266,888	266,889

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	奈井江町				
病院名	奈井江町立国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,489 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	50	83.9	85.5	81.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	83.9	85.5	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,120	
決算規模(千円)	5,890,303	
標準財政規模(千円)	3,263,976	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	85.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	71.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	859,847				
1 経常収益	856,379				
(1) 医業収益	489,906				
(うち修正医業収益)	423,551				
入院収益	273,737				
外来収益	114,931				
診療収入計	388,668				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	101,238				
(うち他会計負担金)	66,355				
(2) 医業外収益	366,473				
(うち国・都道府県補助金)	10,083				
(うち他会計補助・負担金)	268,329				
(うち長期前受金戻入)	58,629				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	3,468				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	832,669				
2 経常費用	832,669				
(1) 医業費用	767,767				
職員給与費	414,334	84.6	60.8	82.0	
材料費	43,203	8.8	27.1	14.2	
(うち薬品費)	10,843	2.2	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,112	6.1	11.8	6.1	
減価償却費	71,052	14.5	8.6	12.5	
経費	229,168	46.8	22.0	34.4	
(うち委託料)	90,577	18.5	11.8	16.9	
研究研修費	3,561				
資産減耗費	6,449				
(2) 医業外費用	64,902				
(うち支払利息)	1,853	0.4	0.9	1.2	
(3) 特別損失	-				
経常損益	23,710				
純損益	27,178				
累積欠損金	-				
経常収支比率	102.8		93.0	93.1	
医業収支比率	63.8		83.9	69.6	
修正医業収支比率	55.2		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	39.1		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	68.3		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	38.9		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	62.7		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,410,516
1 固定資産	1,264,375
(1) 有形固定資産	1,264,205
(2) 無形固定資産	170
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	146,141
(1) 現金及び預金	50,737
(2) 未収金及び未収収益	93,264
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,140
3 繰延資産	-
負債合計	1,174,379
1 固定負債	181,776
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,891
(2) その他の企業債	67,885
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	221,056
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,678
(2) その他の企業債	6,714
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,481
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	130,000
(8) 未払金及び未払費用	18,605
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	771,547
(1) 長期前受金	1,848,439
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,076,892
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	236,137
1 本金	49,265
2 剰余金	186,872
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	186,872
負債・資本合計	1,410,516
不良債務	46,237
実質資金不足額	46,237
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	301,765	334,684
資本勘定繰入	43,556	43,556
計	345,321	378,240

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	46,237	9.4
令和5年度	67,926	13.9
令和4年度	59,024	12.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	30,853
健全化法上の資金不足比率(%)	6.2
地財法上の資金不足額(千円)	114,122
地財法上の資金不足比率(%)	23.2

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	由仁町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	4,822	
決算規模(千円)	5,553,981	
標準財政規模(千円)	3,294,283	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	23.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	67			
1 経常収益	67			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	67			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	67			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	67			
2 経常費用	67			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	-	-	8.6	12.5
経費	-	-	22.0	34.4
(うち委託料)	-	-	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	67			
(うち支払利息)	67	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	93.1
医業収支比率	-		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	43	67
資本勘定繰入	1,176	2,184
計	1,219	2,251

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	長沼町				
病院名	町立長沼病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,099 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	84	15.1	10.4	19.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	15.1	10.4	19.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	10,289	
決算規模(千円)	9,732,788	
標準財政規模(千円)	5,075,278	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	82.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	14.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	793,755				
1 経常収益	793,755				
(1) 医業収益	283,154				
(うち修正医業収益)	243,466				
入院収益	90,085				
外来収益	103,888				
診療収入計	193,973				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	89,181				
(うち他会計負担金)	39,688				
(2) 医業外収益	510,601				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	471,668				
(うち長期前受金戻入)	30,400				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	800,535				
2 経常費用	800,535				
(1) 医業費用	770,512				
職員給与費	471,807	166.6	60.8	82.0	
材料費	44,142	15.6	27.1	14.2	
(うち薬品費)	19,735	7.0	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,407	8.6	11.8	6.1	
減価償却費	39,496	13.9	8.6	12.5	
経費	214,590	75.8	22.0	34.4	
(うち委託料)	131,853	46.6	11.8	16.9	
研究研修費	347				
資産減耗費	130				
(2) 医業外費用	30,023				
(うち支払利息)	3,309	1.2	0.9	1.2	
(3) 特別損失	-				
経常損	-6,780				
純損益	-6,780				
累積欠損金	1,492,509				
経常収支比率	99.2		93.0	93.1	
医業収支比率	36.7		83.9	69.6	
修正医業収支比率	31.6		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	64.4		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	180.6		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	64.4		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	35.3		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,125,839
1 固定資産	713,963
(1) 有形固定資産	713,574
(2) 無形固定資産	389
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	411,876
(1) 現金及び預金	48,009
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	361,688
(4) 貯蔵品	2,179
3 繰延資産	-
負債合計	601,917
1 固定負債	38,264
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,264
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	431,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,059
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,488
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	15,163
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	132,367
(1) 長期前受金	397,921
(2) 長期前受金収益化累計額( )	265,554
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	523,922
1 資本金	1,758,695
2 剰余金	-1,234,773
(1) 資本剰余金	246,051
(2) 利益剰余金	-1,480,824
負債・資本合計	1,125,839
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	510,780	511,356
資本勘定繰入	10,834	27,299
計	521,614	538,655

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	527.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	月形町		
病院名	国保月形町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,759 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	81.2	78.5	90.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	81.2	78.5	90.7
平均在院日数(一般病床のみ)		50.4	48.6	65.0

設立団体の状況		
人口(人)	3,691	
決算規模(千円)	6,468,442	
標準財政規模(千円)	2,631,574	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	88.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	627,558			
1 経常収益	627,558			
(1) 医業収益	450,143			
(うち修正医業収益)	415,546			
入院収益	320,849			
外来収益	77,236			
診療収入計	398,085			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	52,058			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	177,415			
(うち国・都道府県補助金)	7,148			
(うち他会計補助・負担金)	127,266			
(うち長期前受金戻入)	37,620			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	634,017			
2 経常費用	634,017			
(1) 医業費用	609,940			
職員給与費	399,323	88.7	60.8	92.5
材料費	42,344	9.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	27,613	6.1	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,731	3.3	11.8	5.8
減価償却費	46,665	10.4	8.6	13.4
経費	113,881	25.3	22.0	47.6
(うち委託料)	60,438	13.4	11.8	23.6
研究研修費	251			
資産減耗費	7,476			
(2) 医業外費用	24,077			
(うち支払利息)	394	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-6,459			
純損失	-6,459			
累積欠損金	695,158			
経常収支比率	99.0		93.0	95.6
医業収支比率	73.8		83.9	59.3
修正医業収支比率	68.1		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	25.8		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	25.8		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	73.5		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	855,303
1 固定資産	622,974
(1) 有形固定資産	622,974
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	232,329
(1) 現金及び預金	101,335
(2) 未収金及び未収収益	126,172
(3) 貸倒引当金( )	50
(4) 貯蔵品	4,630
3 繰延資産	-
負債合計	321,589
1 固定負債	128,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	128,403
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	68,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,114
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,546
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,485
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	124,571
(1) 長期前受金	275,442
(2) 長期前受金収益化累計額( )	150,871
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	533,714
1 資本金	1,202,766
2 剰余金	-669,052
(1) 資本剰余金	26,106
(2) 利益剰余金	-695,158
負債・資本合計	855,303
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	161,863	161,863
資本勘定繰入	14,542	14,542
計	176,405	176,405

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	154.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美瑛町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,059 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	56	36.9	36.5	33.5
療養	42	40.6	36.0	33.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	38.5	36.3	33.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	9,668	
決算規模(千円)	12,430,467	
標準財政規模(千円)	6,331,064	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	17.8

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,199,975				
1 経常収益	1,187,035				
(1) 医業収益	677,391				
(うち修正医業収益)	575,884				
入院収益	316,291				
外来収益	226,261				
診療収入計	542,552				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	134,839				
(うち他会計負担金)	101,507				
(2) 医業外収益	509,644				
(うち国・都道府県補助金)	434				
(うち他会計補助・負担金)	448,493				
(うち長期前受金戻入)	58,477				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	12,940				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,160,760				
2 経常費用	1,157,640				
(1) 医業費用	1,113,876				
職員給与費	578,137	85.3	60.8	82.0	
材料費	83,337	12.3	27.1	14.2	
(うち薬品費)	42,344	6.3	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,648	5.9	11.8	6.1	
減価償却費	125,742	18.6	8.6	12.5	
経費	321,563	47.5	22.0	34.4	
(うち委託料)	164,582	24.3	11.8	16.9	
研究研修費	422				
資産減耗費	4,675				
(2) 医業外費用	43,764				
(うち支払利息)	9,256	1.4	0.9	1.2	
(3) 特別損失	3,120				
経常損益	29,395				
純損益	39,215				
累積欠損金	75,652				
経常収支比率	102.5		93.0	93.1	
医業収支比率	60.8		83.9	69.6	
修正医業収支比率	51.7		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	46.3		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	81.2		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	45.8		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	55.0		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,523,716
1 固定資産	1,336,685
(1) 有形固定資産	1,336,394
(2) 無形固定資産	291
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	187,031
(1) 現金及び預金	100,087
(2) 未収金及び未収収益	81,749
(3) 貸倒引当金( )	1
(4) 貯蔵品	5,196
3 繰延資産	-
負債合計	1,027,239
1 固定負債	249,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	249,179
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	201,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,596
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,075
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,830
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	576,787
(1) 長期前受金	1,499,339
(2) 長期前受金収益化累計額( )	922,552
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	496,477
1 資本金	560,453
2 剰余金	-63,976
(1) 資本剰余金	5,796
(2) 利益剰余金	-69,772
負債・資本合計	1,523,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	482,404	550,000
資本勘定繰入	26,931	28,016
計	509,335	578,016

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>				都道府県名 北海道
市町村・組合名	上富良野町			
病院名	上富良野町立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	3,708 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	5	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	39	44.9	49.2	46.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	39	44.9	49.2	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	17.0	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	10,348	
決算規模(千円)	8,559,958	
標準財政規模(千円)	4,499,995	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	79.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	914,084			
1 経常収益	914,084			
(1) 医業収益	474,886			
(うち修正医業収益)	401,843			
入院収益	191,534			
外来収益	174,743			
診療収入計	366,277			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	108,609			
(うち他会計負担金)	73,043			
(2) 医業外収益	439,198			
(うち国・都道府県補助金)	275			
(うち他会計補助・負担金)	247,722			
(うち長期前受金戻入)	17,287			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	996,300			
2 経常費用	996,294			
(1) 医業費用	811,185			
職員給与費	535,566	112.8	60.8	92.5
材料費	75,823	16.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	42,288	8.9	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,946	6.7	11.8	5.8
減価償却費	38,705	8.2	8.6	13.4
経費	160,383	33.8	22.0	47.6
(うち委託料)	83,327	17.5	11.8	23.6
研究研修費	301			
資産減耗費	407			
(2) 医業外費用	185,109			
(うち支払利息)	11,119	2.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	6			
経常損失	-82,210			
純損失	-82,216			
累積欠損金	1,468,618			
経常収支比率	91.7		93.0	95.6
医業収支比率	58.5		83.9	59.3
修正医業収支比率	49.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	35.1		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	67.5		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	35.1		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	59.6		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,914,976
1 固定資産	6,022,712
(1) 有形固定資産	5,594,414
(2) 無形固定資産	1,009
(3) 投資その他の資産	427,289
2 流動資産	1,892,264
(1) 現金及び預金	1,679,682
(2) 未収金及び未収収益	205,299
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	7,283
3 繰延資産	-
負債合計	7,673,227
1 固定負債	4,813,718
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,813,718
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,896,882
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,785
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,158
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,854,536
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	962,627
(1) 長期前受金	1,467,552
(2) 長期前受金収益化累計額( )	504,925
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	241,749
1 資本金	1,671,947
2 剰余金	-1,430,198
(1) 資本剰余金	18,659
(2) 利益剰余金	-1,448,857
負債・資本合計	7,914,976
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,106	320,765
資本勘定繰入	59,638	121,678
計	273,744	442,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	309.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	中富良野町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	13.0	26.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	13.0	26.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	41.1	47.3

設立団体の状況		
人口(人)	4,733	
決算規模(千円)	9,841,313	
標準財政規模(千円)	3,092,779	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	81.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	16.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	56			
1 経常収益	56			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	56			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	56			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	56			
2 経常費用	56			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	56			
(うち支払利息)	56	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	37	56
資本勘定繰入	166	249
計	203	305

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	和寒町		
病院名	国保町立和寒病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,192
決算規模(千円)	4,698,238
標準財政規模(千円)	2,853,894
財政力指数	0.16
経常収支比率(%)	81.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	294			
1 経常収益	294			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	294			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	294			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	294			
2 経常費用	294			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	294			
(うち支払利息)	294	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	196	294
資本勘定繰入	5,580	8,371
計	5,776	8,665

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	下川町				
病院名	下川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,301 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	41	65.1	50.4	53.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	41	65.1	50.4	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		39.1	42.9	34.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,126	
決算規模(千円)	5,571,605	
標準財政規模(千円)	3,343,326	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	8.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	535,119			
1 経常収益	533,551			
(1) 医業収益	335,485			
(うち修正医業収益)	311,444			
入院収益	162,794			
外来収益	111,384			
診療収入計	274,178			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	61,307			
(うち他会計負担金)	24,041			
(2) 医業外収益	198,066			
(うち国・都道府県補助金)	3,812			
(うち他会計補助・負担金)	175,959			
(うち長期前受金戻入)	16,344			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,568			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	553,852			
2 経常費用	553,852			
(1) 医業費用	535,302			
職員給与費	329,488	98.2	60.8	92.5
材料費	40,433	12.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	15,179	4.5	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,254	7.5	11.8	5.8
減価償却費	29,750	8.9	8.6	13.4
経費	134,552	40.1	22.0	47.6
(うち委託料)	76,090	22.7	11.8	23.6
研究研修費	1,001			
資産減耗費	78			
(2) 医業外費用	18,550			
(うち支払利息)	79	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-20,301			
純損失	-18,733			
累積欠損金	466,755			
経常収支比率	96.3		93.0	95.6
医業収支比率	62.7		83.9	59.3
修正医業収支比率	58.2		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	37.5		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	59.6		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	37.4		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	60.2		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	537,473
1 固定資産	395,846
(1) 有形固定資産	395,556
(2) 無形固定資産	290
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	141,627
(1) 現金及び預金	88,688
(2) 未収金及び未収収益	47,843
(3) 貸倒引当金( )	320
(4) 貯蔵品	4,916
3 繰延資産	-
負債合計	137,316
1 固定負債	48,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,208
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	7,163
2 流動負債	59,785
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,585
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,420
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	29,160
(1) 長期前受金	188,216
(2) 長期前受金収益化累計額( )	159,056
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	400,157
1 本金	762,951
2 剰余金	-362,794
(1) 資本剰余金	103,961
(2) 利益剰余金	-466,755
負債・資本合計	537,473
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	357,331	200,000
資本勘定繰入	2,334	2,334
計	359,665	202,334

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	139.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	遠別町		
病院名	遠別町立国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	18.1	48.0
療養	-	-	1.7	8.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	9.0	26.0
平均在院日数(一般病床のみ)		-	16.1	23.6

設立団体の状況	
人口(人)	2,520
決算規模(千円)	4,385,612
標準財政規模(千円)	2,927,438
財政力指数	0.13
経常収支比率(%)	81.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	438			
1 経常収益	438			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	438			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	438			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	438			
2 経常費用	438			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	438			
(うち支払利息)	438	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	438	438
資本勘定繰入	2,258	2,258
計	2,696	2,696

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	天塩町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,066 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	48	35.4	42.8	51.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	35.4	42.8	51.8
平均在院日数(一般病床のみ)		32.6	38.9	43.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,950	
決算規模(千円)	5,063,909	
標準財政規模(千円)	3,115,421	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	8.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	717,511			
1 経常収益	717,511			
(1) 医業収益	325,545			
(うち修正医業収益)	289,251			
入院収益	135,750			
外来収益	123,754			
診療収入計	259,504			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	66,041			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	391,966			
(うち国・都道府県補助金)	3,787			
(うち他会計補助・負担金)	315,618			
(うち長期前受金戻入)	68,202			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	736,069			
2 経常費用	735,604			
(1) 医業費用	732,473			
職員給与費	434,042	133.3	60.8	92.5
材料費	53,519	16.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	22,437	6.9	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,082	9.5	11.8	5.8
減価償却費	70,481	21.7	8.6	13.4
経費	173,019	53.1	22.0	47.6
(うち委託料)	91,300	28.0	11.8	23.6
研究研修費	1,332			
資産減耗費	80			
(2) 医業外費用	3,131			
(うち支払利息)	3,080	0.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	465			
経常損益	-18,093			
純損益	-18,558			
累積欠損金	81,743			
経常収支比率	97.5		93.0	95.6
医業収支比率	44.4		83.9	59.3
修正医業収支比率	39.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	49.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	108.1		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	49.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	49.7		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	959,479
1 固定資産	843,660
(1) 有形固定資産	843,393
(2) 無形固定資産	267
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	115,819
(1) 現金及び預金	22,550
(2) 未収金及び未収収益	92,303
(3) 貸倒引当金( )	865
(4) 貯蔵品	1,831
3 繰延資産	-
負債合計	815,747
1 固定負債	60,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,812
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,252
(6) リース債務	11,149
2 流動負債	57,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,301
(6) リース債務	2,060
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,829
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	698,065
(1) 長期前受金	2,029,392
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,331,327
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	143,732
1 資本金	106,128
2 剰余金	37,604
(1) 資本剰余金	119,347
(2) 利益剰余金	-81,743
負債・資本合計	959,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	350,896	351,912
資本勘定繰入	56,934	90,124
計	407,830	442,036

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	猿払村				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,055 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	24	46.8	43.3	45.4
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	28	40.1	37.1	38.9
平均在院日数(一般病床のみ)		32.8	27.3	27.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,611	
決算規模(千円)	6,199,181	
標準財政規模(千円)	3,168,142	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	48.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	504,846			
1 経常収益	504,846			
(1) 医業収益	229,130			
(うち修正医業収益)	224,750			
入院収益	57,566			
外来収益	126,200			
診療収入計	183,766			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	45,364			
(うち他会計負担金)	4,380			
(2) 医業外収益	275,716			
(うち国・都道府県補助金)	2,704			
(うち他会計補助・負担金)	256,379			
(うち長期前受金戻入)	13,270			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	561,072			
2 経常費用	561,072			
(1) 医業費用	557,192			
職員給与費	259,901	113.4	60.8	92.5
材料費	123,653	54.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	77,246	33.7	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,814	18.2	11.8	5.8
減価償却費	52,069	22.7	8.6	13.4
経費	119,110	52.0	22.0	47.6
(うち委託料)	71,023	31.0	11.8	23.6
研究研修費	2,041			
資産減耗費	418			
(2) 医業外費用	3,880			
(うち支払利息)	865	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-56,226			
純損失	-56,226			
累積欠損金	56,136			
経常収支比率	90.0		93.0	95.6
医業収支比率	41.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	40.3		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	51.7		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	113.8		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	51.7		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	43.5		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	665,056
1 固定資産	358,017
(1) 有形固定資産	356,086
(2) 無形固定資産	1,931
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	307,039
(1) 現金及び預金	47,356
(2) 未収金及び未収収益	245,509
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	14,174
3 繰延資産	-
負債合計	202,691
1 固定負債	166,983
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,983
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	24,720
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,199
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,521
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,988
(1) 長期前受金	102,138
(2) 長期前受金収益化累計額( )	91,150
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	462,365
1 本金	453,894
2 剰余金	8,471
(1) 資本剰余金	64,607
(2) 利益剰余金	-56,136
負債・資本合計	665,056
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	261,129	260,759
資本勘定繰入	10,223	-
計	271,352	260,759

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	浜頓別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,748 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	51.0	69.0	59.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	51.0	69.0	59.8
平均在院日数(一般病床のみ)		32.2	44.6	41.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,448	
決算規模(千円)	5,101,844	
標準財政規模(千円)	3,185,085	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	47.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	865,696			
1 経常収益	865,696			
(1) 医業収益	441,001			
(うち修正医業収益)	396,495			
入院収益	209,345			
外来収益	122,790			
診療収入計	332,135			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	108,866			
(うち他会計負担金)	44,506			
(2) 医業外収益	424,695			
(うち国・都道府県補助金)	1,074			
(うち他会計補助・負担金)	386,513			
(うち長期前受金戻入)	31,856			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	865,516			
2 経常費用	865,516			
(1) 医業費用	834,462			
職員給与費	474,727	107.6	60.8	92.5
材料費	64,710	14.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	35,793	8.1	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,877	4.5	11.8	5.8
減価償却費	51,843	11.8	8.6	13.4
経費	235,714	53.4	22.0	47.6
(うち委託料)	98,059	22.2	11.8	23.6
研究研修費	5,262			
資産減耗費	2,206			
(2) 医業外費用	31,054			
(うち支払利息)	6,237	1.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	180			
純損益	180			
累積欠損金	53,185			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	52.8		83.9	59.3
修正医業収支比率	47.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	49.8		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	97.7		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	49.8		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	50.2		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,434,844
1 固定資産	3,828,598
(1) 有形固定資産	3,486,409
(2) 無形固定資産	615
(3) 投資その他の資産	341,574
2 流動資産	606,246
(1) 現金及び預金	480,020
(2) 未収金及び未収収益	117,304
(3) 貸倒引当金( )	11
(4) 貯蔵品	8,933
3 繰延資産	-
負債合計	3,587,363
1 固定負債	3,075,330
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,075,330
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	279,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,348
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,998
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	214,392
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	232,366
(1) 長期前受金	498,822
(2) 長期前受金収益化累計額( )	266,456
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	847,481
1 資本金	920,366
2 剰余金	-72,885
(1) 資本剰余金	-19,700
(2) 利益剰余金	-53,185
負債・資本合計	4,434,844
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	431,019	431,019
資本勘定繰入	41,527	41,527
計	472,546	472,546

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	中頓別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,420 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	20	39.5	32.7	39.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	20	39.5	32.7	39.0
平均在院日数(一般病床のみ)		23.5	16.3	25.8

設立団体の状況	
人口(人)	1,637
決算規模(千円)	4,588,480
標準財政規模(千円)	2,358,285
財政力指数	0.11
経常収支比率(%)	63.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-0.3
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	539,312			
1 経常収益	539,151			
(1) 医業収益	260,954			
(うち修正医業収益)	227,318			
入院収益	61,745			
外来収益	66,477			
診療収入計	128,222			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	132,732			
(うち他会計負担金)	33,636			
(2) 医業外収益	278,197			
(うち国・都道府県補助金)	2,048			
(うち他会計補助・負担金)	250,215			
(うち長期前受金戻入)	23,986			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	161			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	574,051			
2 経常費用	574,051			
(1) 医業費用	558,897			
職員給与費	342,433	131.2	60.8	92.5
材料費	42,889	16.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	14,379	5.5	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,087	8.8	11.8	5.8
減価償却費	37,978	14.6	8.6	13.4
経費	134,611	51.6	22.0	47.6
(うち委託料)	21,074	8.1	11.8	23.6
研究研修費	740			
資産減耗費	246			
(2) 医業外費用	15,154			
(うち支払利息)	508	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-34,900			
純損失	-34,739			
累積欠損金	120,331			
経常収支比率	93.9		93.0	95.6
医業収支比率	46.7		83.9	59.3
修正医業収支比率	40.7		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	52.6		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	108.8		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	52.6		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	44.5		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	891,968
1 固定資産	431,170
(1) 有形固定資産	431,170
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	460,798
(1) 現金及び預金	140,011
(2) 未収金及び未収収益	317,061
(3) 貸倒引当金( )	638
(4) 貯蔵品	4,364
3 繰延資産	-
負債合計	345,885
1 固定負債	138,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	138,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	60,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,141
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,329
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,438
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	146,443
(1) 長期前受金	435,638
(2) 長期前受金収益化累計額( )	289,195
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	546,083
1 資本金	666,414
2 剰余金	-120,331
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-120,331
負債・資本合計	891,968
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	282,330	283,851
資本勘定繰入	14,408	22,829
計	296,738	306,680

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	枝幸町		
病院名	枝幸町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	7,195 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	67.1	56.5	68.7
療養	23	4.6	55.3	82.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	83	49.8	56.0	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		53.9	46.9	37.8

設立団体の状況		
人口(人)	7,565	
決算規模(千円)	13,019,248	
標準財政規模(千円)	6,869,652	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	82.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,918,818			
1 経常収益	1,918,818			
(1) 医業収益	806,168			
(うち修正医業収益)	735,311			
入院収益	306,114			
外来収益	388,778			
診療収入計	694,892			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	111,276			
(うち他会計負担金)	70,857			
(2) 医業外収益	1,112,650			
(うち国・都道府県補助金)	622			
(うち他会計補助・負担金)	957,633			
(うち長期前受金戻入)	115,849			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,872,467			
2 経常費用	1,872,404			
(1) 医業費用	1,770,173			
職員給与費	967,916	120.1	60.8	82.0
材料費	209,508	26.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	109,242	13.6	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,444	10.5	11.8	6.1
減価償却費	248,734	30.9	8.6	12.5
経費	335,518	41.6	22.0	34.4
(うち委託料)	196,151	24.3	11.8	16.9
研究研修費	2,360			
資産減耗費	6,137			
(2) 医業外費用	102,231			
(うち支払利息)	13,228	1.6	0.9	1.2
(3) 特別損失	63			
経常損益	46,414			
純損益	46,351			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		93.0	93.1
医業収支比率	45.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	41.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	53.6		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	127.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	53.6		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	47.5		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,807,499
1 固定資産	3,025,947
(1) 有形固定資産	3,025,947
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	781,552
(1) 現金及び預金	618,882
(2) 未収金及び未収収益	137,844
(3) 貸倒引当金( )	338
(4) 貯蔵品	25,164
3 繰延資産	-
負債合計	1,972,624
1 固定負債	1,244,912
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,244,912
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	355,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	281,251
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,817
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,512
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	372,114
(1) 長期前受金	1,102,417
(2) 長期前受金収益化累計額( )	730,303
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,834,875
1 資本金	1,643,066
2 剰余金	191,809
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	191,809
負債・資本合計	3,807,499
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,027,530	1,028,490
資本勘定繰入	160,445	195,556
計	1,187,975	1,224,046

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	豊富町		
病院名	豊富町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,974
決算規模(千円)	5,807,338
標準財政規模(千円)	3,756,731
財政力指数	0.25
経常収支比率(%)	65.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	10.1
	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	191			
1 経常収益	191			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	191			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	191			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	191			
2 経常費用	191			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	191			
(うち支払利息)	191	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	191	191
資本勘定繰入	7,580	7,580
計	7,771	7,771

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美幌町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,739 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	63.9	55.3	59.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	63.9	55.3	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	14.4	22.6

設立団体の状況		
人口(人)	18,697	
決算規模(千円)	13,756,258	
標準財政規模(千円)	7,294,709	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,053,857			
1 経常収益	2,053,857			
(1) 医業収益	1,778,000			
(うち修正医業収益)	1,725,790			
入院収益	860,314			
外来収益	779,876			
診療収入計	1,640,190			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	137,810			
(うち他会計負担金)	52,210			
(2) 医業外収益	275,857			
(うち国・都道府県補助金)	373			
(うち他会計補助・負担金)	222,251			
(うち長期前受金戻入)	17,195			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,120,799			
2 経常費用	2,120,799			
(1) 医業費用	2,030,653			
職員給与費	1,132,358	63.7	60.8	82.0
材料費	299,381	16.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	132,110	7.4	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,243	9.4	11.8	6.1
減価償却費	105,964	6.0	8.6	12.5
経費	489,419	27.5	22.0	34.4
(うち委託料)	214,226	12.0	11.8	16.9
研究研修費	3,531			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	90,146			
(うち支払利息)	15,687	0.9	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-66,942			
純損益	-66,942			
累積欠損金	3,290,623			
経常収支比率	96.8		93.0	93.1
医業収支比率	87.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	85.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	13.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	83.9		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,917,261
1 固定資産	1,300,388
(1) 有形固定資産	1,300,295
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	616,873
(1) 現金及び預金	350,880
(2) 未収金及び未収収益	257,493
(3) 貸倒引当金( )	141
(4) 貯蔵品	8,641
3 繰延資産	-
負債合計	1,389,416
1 固定負債	792,377
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	786,541
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,836
2 流動負債	378,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,933
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,121
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	86,693
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	218,698
(1) 長期前受金	524,976
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	306,278
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	527,845
1 資本金	3,798,988
2 剰余金	-3,271,143
(1) 資本剰余金	19,480
(2) 利益剰余金	-3,290,623
負債・資本合計	1,917,261
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	274,461	274,461
資本勘定繰入	108,214	108,214
計	382,675	382,675

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	斜里町		
病院名	斜里町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,521 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	43.8	51.4	58.2
療養	40	40.6	47.7	70.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	42.5	49.8	63.3
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	24.0	24.3

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	12,245,455	
標準財政規模(千円)	6,114,233	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	34.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,215,006			
1 経常収益	1,215,006			
(1) 医業収益	725,764			
(うち修正医業収益)	653,920			
入院収益	331,183			
外来収益	285,110			
診療収入計	616,293			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	109,471			
(うち他会計負担金)	71,844			
(2) 医業外収益	489,242			
(うち国・都道府県補助金)	324			
(うち他会計補助・負担金)	453,565			
(うち長期前受金戻入)	18,954			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,451,785			
2 経常費用	1,345,874			
(1) 医業費用	1,301,427			
職員給与費	825,243	113.7	60.8	82.0
材料費	120,814	16.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	83,547	11.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,267	5.1	11.8	6.1
減価償却費	65,209	9.0	8.6	12.5
経費	284,912	39.3	22.0	34.4
(うち委託料)	150,300	20.7	11.8	16.9
研究研修費	5,249			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	44,447			
(うち支払利息)	1,309	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	105,911			
損益	-130,868			
純損益	-236,779			
累積欠損金	1,130,904			
経常収支比率	90.3		93.0	93.1
医業収支比率	55.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	50.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	43.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	72.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	43.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	51.2		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,059,306
1 固定資産	684,289
(1) 有形固定資産	684,196
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	375,017
(1) 現金及び預金	282,221
(2) 未収金及び未収収益	88,493
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,303
3 繰延資産	-
負債合計	912,454
1 固定負債	478,195
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	145,885
(2) その他の企業債	43,083
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	60,000
(5) 引当金	229,227
(6) リース債務	-
2 流動負債	177,670
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,405
(2) その他の企業債	4,309
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,967
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,989
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	256,589
(1) 長期前受金	466,086
(2) 長期前受金収益化累計額( )	209,497
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	146,852
1 資本金	1,242,135
2 剰余金	-1,095,283
(1) 資本剰余金	35,621
(2) 利益剰余金	-1,130,904
負債・資本合計	1,059,306
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	525,355	525,409
資本勘定繰入	33,099	38,178
計	558,454	563,587

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	155.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	滝上町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	その他
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,421
決算規模(千円)	4,898,696
標準財政規模(千円)	3,016,858
財政力指数	0.12
経常収支比率(%)	86.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	303			
1 経常収益	303			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	303			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	303			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	303			
2 経常費用	303			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	303			
(うち支払利息)	303	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,211
1 固定資産	30,211
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	30,211
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	30,211
1 固定負債	30,211
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	30,211
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	30,211
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	303
資本勘定繰入	-	14,917
計	-	15,220

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	興部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,985 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	32	62.5	58.5	61.4
療養	18	25.9	24.1	22.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	49.3	46.1	47.4
平均在院日数(一般病床のみ)		47.3	42.7	45.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,628	
決算規模(千円)	6,576,478	
標準財政規模(千円)	3,293,012	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	78.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	787,050				
1 経常収益	784,407				
(1) 医業収益	348,313				
(うち修正医業収益)	285,868				
入院収益	156,675				
外来収益	98,978				
診療収入計	255,653				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	92,660				
(うち他会計負担金)	62,445				
(2) 医業外収益	436,094				
(うち国・都道府県補助金)	160				
(うち他会計補助・負担金)	391,808				
(うち長期前受金戻入)	16,630				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,643				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	791,960				
2 経常費用	791,960				
(1) 医業費用	735,767				
職員給与費	450,869	129.4	60.8	82.0	
材料費	43,043	12.4	27.1	14.2	
(うち薬品費)	17,272	5.0	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,823	4.3	11.8	6.1	
減価償却費	53,865	15.5	8.6	12.5	
経費	185,213	53.2	22.0	34.4	
(うち委託料)	70,982	20.4	11.8	16.9	
研究研修費	1,030				
資産減耗費	1,747				
(2) 医業外費用	56,193				
(うち支払利息)	6,570	1.9	0.9	1.2	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-7,553				
純損益	-4,910				
累積欠損金	888,322				
経常収支比率	99.0		93.0	93.1	
医業収支比率	47.3		83.9	69.6	
修正医業収支比率	38.9		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	57.9		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	130.4		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	57.7		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	41.7		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,771,871
1 固定資産	1,502,848
(1) 有形固定資産	1,446,895
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	55,883
2 流動資産	269,023
(1) 現金及び預金	220,783
(2) 未収金及び未収収益	43,312
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,928
3 繰延資産	-
負債合計	1,433,946
1 固定負債	856,407
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	856,407
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	105,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,828
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,250
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,700
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	471,761
(1) 長期前受金	643,552
(2) 長期前受金収益化累計額( )	171,791
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	337,925
1 本金	1,200,729
2 剰余金	-862,804
(1) 資本剰余金	25,518
(2) 利益剰余金	-888,322
負債・資本合計	1,771,871
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	454,253	454,253
資本勘定繰入	32,103	32,103
計	486,356	486,356

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	255.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	雄武町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,308 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	25	29.8	34.8	33.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	29.8	34.8	33.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	17.2	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	4,199	
決算規模(千円)	6,941,057	
標準財政規模(千円)	4,016,556	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	73.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	692,578			
1 経常収益	692,578			
(1) 医業収益	248,254			
(うち修正医業収益)	198,325			
入院収益	70,186			
外来収益	102,343			
診療収入計	172,529			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	75,725			
(うち他会計負担金)	49,929			
(2) 医業外収益	444,324			
(うち国・都道府県補助金)	4,159			
(うち他会計補助・負担金)	347,424			
(うち長期前受金戻入)	11,093			
(うち資本費繰入収益)	41,647			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	713,250			
2 経常費用	713,250			
(1) 医業費用	682,606			
職員給与費	379,528	152.9	60.8	92.5
材料費	36,999	14.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	19,679	7.9	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,153	6.9	11.8	5.8
減価償却費	67,642	27.2	8.6	13.4
経費	172,513	69.5	22.0	47.6
(うち委託料)	75,773	30.5	11.8	23.6
研究研修費	22,765			
資産減耗費	3,159			
(2) 医業外費用	30,644			
(うち支払利息)	5,665	2.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-20,672			
純損失	-20,672			
累積欠損金	109,565			
経常収支比率	97.1		93.0	95.6
医業収支比率	36.4		83.9	59.3
修正医業収支比率	29.1		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	57.4		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	160.1		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	57.4		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	41.4		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,000,855
1 固定資産	928,431
(1) 有形固定資産	902,962
(2) 無形固定資産	25,230
(3) 投資その他の資産	239
2 流動資産	72,424
(1) 現金及び預金	36,850
(2) 未収金及び未収収益	30,719
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,855
3 繰延資産	-
負債合計	718,350
1 固定負債	490,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	485,138
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,609
2 流動負債	157,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,390
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,912
(6) リース債務	2,072
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,920
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	70,305
(1) 長期前受金	135,244
(2) 長期前受金収益化累計額( )	64,939
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	282,505
1 資本金	373,422
2 剰余金	-90,917
(1) 資本剰余金	14,148
(2) 利益剰余金	-105,065
負債・資本合計	1,000,855
不良債務	484
実質資金不足額	484
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	397,353	397,353
資本勘定繰入	41,647	41,647
計	439,000	439,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	484	0.2
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	484
地財法上の資金不足比率(%)	0.1

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	豊浦町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,963 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	37.9
療養	60	65.0	58.7	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	65.0	58.7	37.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	70.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,821	
決算規模(千円)	5,138,230	
標準財政規模(千円)	3,162,112	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	0.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	700,522			
1 経常収益	700,522			
(1) 医業収益	421,708			
(うち修正医業収益)	421,708			
入院収益	265,707			
外来収益	132,179			
診療収入計	397,886			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	23,822			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	278,814			
(うち国・都道府県補助金)	1,418			
(うち他会計補助・負担金)	196,068			
(うち長期前受金戻入)	56,457			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	944,341			
2 経常費用	824,267			
(1) 医業費用	794,650			
職員給与費	493,932	117.1	60.8	82.0
材料費	88,488	21.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	67,729	16.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,793	4.5	11.8	6.1
減価償却費	56,574	13.4	8.6	12.5
経費	153,772	36.5	22.0	34.4
(うち委託料)	74,519	17.7	11.8	16.9
研究研修費	778			
資産減耗費	1,106			
(2) 医業外費用	29,617			
(うち支払利息)	5,430	1.3	0.9	1.2
(3) 特別損失	120,074			
経常損益	-123,745			
純損益	-243,819			
累積欠損金	497,021			
経常収支比率	85.0		93.0	93.1
医業収支比率	53.1		83.9	69.6
修正医業収支比率	53.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	46.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	61.2		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,205,901
1 固定資産	977,730
(1) 有形固定資産	977,678
(2) 無形固定資産	52
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	228,171
(1) 現金及び預金	207,928
(2) 未収金及び未収収益	7,673
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	12,570
3 繰延資産	-
負債合計	739,586
1 固定負債	424,826
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	296,330
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	128,496
(6) リース債務	-
2 流動負債	144,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,385
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,608
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,365
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	170,148
(1) 長期前受金	314,809
(2) 長期前受金収益化累計額( )	144,661
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	466,315
1 本金	945,360
2 剰余金	-479,045
(1) 資本剰余金	17,976
(2) 利益剰余金	-497,021
負債・資本合計	1,205,901
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	196,068	196,068
資本勘定繰入	43,394	40,512
計	239,462	236,580

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	117.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	白老町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,079 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	35.0	24.8	27.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	35.0	24.8	27.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	20.2	22.1

設立団体の状況		
人口(人)	16,212	
決算規模(千円)	14,842,678	
標準財政規模(千円)	6,604,991	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	2.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,164,787			
1 経常収益	1,164,623			
(1) 医業収益	468,447			
(うち修正医業収益)	383,066			
入院収益	154,440			
外来収益	180,282			
診療収入計	334,722			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	133,725			
(うち他会計負担金)	85,381			
(2) 医業外収益	696,176			
(うち国・都道府県補助金)	154			
(うち他会計補助・負担金)	682,349			
(うち長期前受金戻入)	8,671			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	164			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,100,041			
2 経常費用	978,697			
(1) 医業費用	945,915			
職員給与費	522,646	111.6	60.8	92.5
材料費	43,049	9.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	34,417	7.3	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,405	1.8	11.8	5.8
減価償却費	20,487	4.4	8.6	13.4
経費	354,982	75.8	22.0	47.6
(うち委託料)	169,161	36.1	11.8	23.6
研究研修費	251			
資産減耗費	4,500			
(2) 医業外費用	32,782			
(うち支払利息)	4,086	0.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	121,344			
損益	185,926			
純損益	64,746			
累積欠損金	973,048			
経常収支比率	119.0		93.0	95.6
医業収支比率	49.5		83.9	59.3
修正医業収支比率	40.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	65.9		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	163.9		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	65.9		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	40.6		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,764,211
1 固定資産	3,501,862
(1) 有形固定資産	3,500,522
(2) 無形固定資産	1,340
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	262,349
(1) 現金及び預金	152,337
(2) 未収金及び未収収益	90,793
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	19,219
3 繰延資産	-
負債合計	1,197,053
1 固定負債	877,635
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	877,635
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	201,897
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,265
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,776
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	115,265
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	117,521
(1) 長期前受金	222,673
(2) 長期前受金収益化累計額( )	105,152
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,567,158
1 資本金	3,530,743
2 剰余金	-963,585
(1) 資本剰余金	1,863
(2) 利益剰余金	-965,448
負債・資本合計	3,764,211
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,290	767,730
資本勘定繰入	530,900	1,338,437
計	810,190	2,106,167

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	207.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	むかわ町		
病院名	むかわ町鶴川厚生病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,548 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	54.8	52.1	47.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	54.8	52.1	47.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	15.8	15.1

設立団体の状況	
人口(人)	7,651
決算規模(千円)	10,953,248
標準財政規模(千円)	5,593,182
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	88.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.3
将来負担比率(%)	20.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	247,362			
1 経常収益	247,362			
(1) 医業収益	1,188			
(うち修正医業収益)	1,188			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,188			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	246,174			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	228,148			
(うち長期前受金戻入)	15,176			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	285,707			
2 経常費用	285,707			
(1) 医業費用	275,780			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	83,543	7032.2	8.6	13.4
経費	190,762	16057.4	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	1,475			
(2) 医業外費用	9,927			
(うち支払利息)	2,229	187.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-38,345			
純損失	-38,345			
累積欠損金	139,190			
経常収支比率	86.6		93.0	95.6
医業収支比率	0.4		83.9	59.3
修正医業収支比率	0.4		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	92.2		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	19204.4		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	92.2		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	6.7		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,007,248
1 固定資産	955,595
(1) 有形固定資産	931,089
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	24,506
2 流動資産	51,653
(1) 現金及び預金	50,433
(2) 未収金及び未収収益	1,220
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,043,384
1 固定負債	754,903
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	754,903
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	58,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,970
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,108
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	230,403
(1) 長期前受金	488,337
(2) 長期前受金収益化累計額( )	257,934
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-36,136
1 本金	51,936
2 剰余金	-88,072
(1) 資本剰余金	51,118
(2) 利益剰余金	-139,190
負債・資本合計	1,007,248
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	36,136
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	228,148	228,148
資本勘定繰入	21,308	21,308
計	249,456	249,456

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11716.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	日高町				
病院名	門別国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	105	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	34	48.1	58.6	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	34	48.1	58.6	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	20.0	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	11,279	
決算規模(千円)	12,904,351	
標準財政規模(千円)	6,905,432	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	58.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,586,086			
1 経常収益	1,586,086			
(1) 医業収益	778,113			
(うち修正医業収益)	715,433			
入院収益	255,888			
外来収益	415,510			
診療収入計	671,398			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	106,715			
(うち他会計負担金)	62,680			
(2) 医業外収益	807,973			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	456,043			
(うち長期前受金戻入)	106,825			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,626,501			
2 経常費用	1,626,501			
(1) 医業費用	1,133,447			
職員給与費	708,110	91.0	60.8	92.5
材料費	113,397	14.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	56,518	7.3	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,866	7.3	11.8	5.8
減価償却費	123,451	15.9	8.6	13.4
経費	187,446	24.1	22.0	47.6
(うち委託料)	122,241	15.7	11.8	23.6
研究研修費	1,043			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	493,054			
(うち支払利息)	14,634	1.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-40,415			
純損失	-40,415			
累積欠損金	278,919			
経常収支比率	97.5		93.0	95.6
医業収支比率	68.7		83.9	59.3
修正医業収支比率	63.1		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	66.7		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	32.7		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	65.6		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,308,598
1 固定資産	2,081,045
(1) 有形固定資産	2,081,045
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	227,553
(1) 現金及び預金	50,151
(2) 未収金及び未収収益	172,240
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	5,162
3 繰延資産	-
負債合計	2,518,625
1 固定負債	823,871
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	823,734
(2) その他の企業債	137
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	205,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,416
(2) その他の企業債	137
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,046
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,488,855
(1) 長期前受金	2,197,688
(2) 長期前受金収益化累計額( )	708,833
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-210,027
1 資本金	68,892
2 剰余金	-278,919
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-278,919
負債・資本合計	2,308,598
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	210,027
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,589	518,723
資本勘定繰入	75,215	118,277
計	299,804	637,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	平取町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,447 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	42	58.7	56.1	49.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	58.7	56.1	49.6
平均在院日数(一般病床のみ)		34.9	36.6	26.9

設立団体の状況	
人口(人)	4,776
決算規模(千円)	7,504,284
標準財政規模(千円)	4,055,787
財政力指数	0.17
経常収支比率(%)	80.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.3
将来負担比率(%)	44.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	843,788			
1 経常収益	775,049			
(1) 医業収益	358,608			
(うち修正医業収益)	322,352			
入院収益	180,419			
外来収益	107,306			
診療収入計	287,725			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	70,883			
(うち他会計負担金)	36,256			
(2) 医業外収益	416,441			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	297,452			
(うち長期前受金戻入)	108,012			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	68,739			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	831,526			
2 経常費用	830,926			
(1) 医業費用	822,367			
職員給与費	476,885	133.0	60.8	92.5
材料費	55,825	15.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	23,892	6.7	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,827	8.9	11.8	5.8
減価償却費	108,330	30.2	8.6	13.4
経費	180,811	50.4	22.0	47.6
(うち委託料)	70,734	19.7	11.8	23.6
研究研修費	516			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,559			
(うち支払利息)	6,311	1.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	600			
経常損益	-55,877			
純損益	12,262			
累積欠損金	88,991			
経常収支比率	93.3		93.0	95.6
医業収支比率	43.6		83.9	59.3
修正医業収支比率	39.2		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	43.1		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	93.1		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	39.5		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	53.1		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,128,644
1 固定資産	2,062,910
(1) 有形固定資産	2,020,730
(2) 無形固定資産	507
(3) 投資その他の資産	41,673
2 流動資産	65,734
(1) 現金及び預金	14,446
(2) 未収金及び未収収益	41,584
(3) 貸倒引当金( )	542
(4) 貯蔵品	10,246
3 繰延資産	-
負債合計	2,003,056
1 固定負債	1,658,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,657,169
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,100
(6) リース債務	-
2 流動負債	279,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	180,083
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,734
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	15,574
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	65,382
(1) 長期前受金	696,575
(2) 長期前受金収益化累計額( )	631,193
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	125,588
1 資本金	201,414
2 剰余金	-75,826
(1) 資本剰余金	13,165
(2) 利益剰余金	-88,991
負債・資本合計	2,128,644
不良債務	33,588
実質資金不足額	33,588
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	195,523	333,708
資本勘定繰入	24,924	175,845
計	220,447	509,553

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	33,588	9.4
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.8
健全化法上の資金不足額(千円)	33,588
健全化法上の資金不足比率(%)	9.3
地財法上の資金不足額(千円)	33,588
地財法上の資金不足比率(%)	9.3

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	新ひだか町				
病院名	新ひだか町立静内病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,932 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	58	61.4	61.8	52.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	61.4	61.8	52.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.7	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	21,517	
決算規模(千円)	17,995,020	
標準財政規模(千円)	9,432,165	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	25.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,339,472			
1 経常収益	1,337,600			
(1) 医業収益	929,247			
(うち修正医業収益)	929,247			
入院収益	509,670			
外来収益	356,703			
診療収入計	866,373			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	62,874			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	408,353			
(うち国・都道府県補助金)	186			
(うち他会計補助・負担金)	375,573			
(うち長期前受金戻入)	13,918			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,872			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,374,613			
2 経常費用	1,371,608			
(1) 医業費用	1,312,687			
職員給与費	703,310	75.7	60.8	82.0
材料費	131,907	14.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	86,375	9.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,532	4.9	11.8	6.1
減価償却費	62,427	6.7	8.6	12.5
経費	413,706	44.5	22.0	34.4
(うち委託料)	241,111	25.9	11.8	16.9
研究研修費	1,013			
資産減耗費	324			
(2) 医業外費用	58,921			
(うち支払利息)	8,574	0.9	0.9	1.2
(3) 特別損失	3,005			
経常損益	-34,008			
純損益	-35,141			
累積欠損金	502,387			
経常収支比率	97.5		93.0	93.1
医業収支比率	70.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	70.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.1		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	40.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	70.1		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,512,525
1 固定資産	1,160,014
(1) 有形固定資産	1,158,878
(2) 無形固定資産	1,136
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	352,511
(1) 現金及び預金	167,196
(2) 未収金及び未収収益	175,509
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	9,806
3 繰延資産	-
負債合計	2,358,501
1 固定負債	384,843
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	384,843
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	687,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,180
(2) その他の企業債	6,154
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,746
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	86,079
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,286,499
(1) 長期前受金	3,158,325
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,871,826
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-845,976
1 本金	160,778
2 剰余金	-1,006,754
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,006,754
負債・資本合計	1,512,525
不良債務	164,468
実質資金不足額	164,468
資本不足額( )	845,976
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	278,325	375,573
資本勘定繰入	101,100	112,600
計	379,425	488,173

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	164,468	14.5
令和5年度	70,613	6.2
令和4年度	57,602	5.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.6
健全化法上の資金不足額(千円)	123,723
健全化法上の資金不足比率(%)	10.8
地財法上の資金不足額(千円)	164,468
地財法上の資金不足比率(%)	14.4

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	新ひだか町		
病院名	新ひだか町立三石国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,104 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業	許可	看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	22	65.0	64.7	65.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	22	65.0	64.7	65.8
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	21,517
決算規模(千円)	17,995,020
標準財政規模(千円)	9,432,165
財政力指数	0.34
経常収支比率(%)	92.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	417,131			
1 経常収益	416,209			
(1) 医業収益	207,196			
(うち修正医業収益)	207,196			
入院収益	88,603			
外来収益	103,327			
診療収入計	191,930			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	15,266			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	209,013			
(うち国・都道府県補助金)	70			
(うち他会計補助・負担金)	205,218			
(うち長期前受金戻入)	1,496			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	922			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	483,318			
2 経常費用	481,852			
(1) 医業費用	464,402			
職員給与費	250,289	120.8	60.8	92.5
材料費	40,386	19.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	25,047	12.1	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,339	7.4	11.8	5.8
減価償却費	14,487	7.0	8.6	13.4
経費	158,865	76.7	22.0	47.6
(うち委託料)	84,442	40.8	11.8	23.6
研究研修費	208			
資産減耗費	167			
(2) 医業外費用	17,450			
(うち支払利息)	1,413	0.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	1,466			
損益	-65,643			
純損益	-66,187			
累積欠損金	504,367			
経常収支比率	86.4		93.0	95.6
医業収支比率	44.6		83.9	59.3
修正医業収支比率	44.6		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	49.3		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	99.0		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	49.2		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	43.8		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,512,525
1 固定資産	1,160,014
(1) 有形固定資産	1,158,878
(2) 無形固定資産	1,136
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	352,511
(1) 現金及び預金	167,196
(2) 未収金及び未収収益	175,509
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	9,806
3 繰延資産	-
負債合計	2,358,501
1 固定負債	384,843
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	384,843
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	687,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,180
(2) その他の企業債	6,154
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,746
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	86,079
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,286,499
(1) 長期前受金	3,158,325
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,871,826
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-845,976
1 本金	160,778
2 剰余金	-1,006,754
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,006,754
負債・資本合計	1,512,525
不良債務	164,468
実質資金不足額	164,468
資本不足額( )	845,976
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	122,416	205,218
資本勘定繰入	13,926	15,091
計	136,342	220,309

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	164,468	14.5
令和5年度	70,613	6.2
令和4年度	57,602	5.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.6
健全化法上の資金不足額(千円)	123,723
健全化法上の資金不足比率(%)	10.8
地財法上の資金不足額(千円)	164,468
地財法上の資金不足比率(%)	14.4

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	士幌町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,166 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	64.0	51.4	48.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	64.0	51.4	48.0
平均在院日数(一般病床のみ)		86.8	48.5	54.6

設立団体の状況	
人口(人)	5,848
決算規模(千円)	10,859,361
標準財政規模(千円)	4,539,381
財政力指数	0.30
経常収支比率(%)	88.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.8 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	828,887			
1 経常収益	828,887			
(1) 医業収益	384,946			
(うち修正医業収益)	384,946			
入院収益	195,686			
外来収益	143,942			
診療収入計	339,628			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	45,318			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	443,941			
(うち国・都道府県補助金)	160			
(うち他会計補助・負担金)	420,000			
(うち長期前受金戻入)	22,346			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	901,539			
2 経常費用	901,539			
(1) 医業費用	868,482			
職員給与費	491,983	127.8	60.8	82.0
材料費	70,381	18.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	31,839	8.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,153	7.3	11.8	6.1
減価償却費	86,007	22.3	8.6	12.5
経費	211,097	54.8	22.0	34.4
(うち委託料)	97,034	25.2	11.8	16.9
研究研修費	1,139			
資産減耗費	7,875			
(2) 医業外費用	33,057			
(うち支払利息)	8,015	2.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-72,652			
純損失	-72,652			
累積欠損金	1,208,273			
経常収支比率	91.9		93.0	93.1
医業収支比率	44.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	44.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	50.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	109.1		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	50.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	45.4		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,925,907
1 固定資産	1,793,006
(1) 有形固定資産	1,792,876
(2) 無形固定資産	130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	132,901
(1) 現金及び預金	54,079
(2) 未収金及び未収収益	73,739
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,040
3 繰延資産	-
負債合計	1,952,483
1 固定負債	588,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	588,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	216,420
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,843
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,459
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,118
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,147,599
(1) 長期前受金	1,368,435
(2) 長期前受金収益化累計額( )	220,836
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-26,576
1 資本金	984,825
2 剰余金	-1,011,401
(1) 資本剰余金	196,872
(2) 利益剰余金	-1,208,273
負債・資本合計	1,925,907
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	26,576
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	420,000	420,000
資本勘定繰入	66,321	86,395
計	486,321	506,395

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	313.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	鹿追町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,233 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	68.4	77.1	53.0
療養	20	46.9	54.1	40.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	59.8	67.9	48.1
平均在院日数(一般病床のみ)		36.4	38.6	28.0

設立団体の状況		
人口(人)	5,266	
決算規模(千円)	8,437,375	
標準財政規模(千円)	4,284,753	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	81.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	642,917			
1 経常収益	642,870			
(1) 医業収益	383,801			
(うち修正医業収益)	345,810			
入院収益	150,154			
外来収益	166,123			
診療収入計	316,277			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	67,524			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	259,069			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	246,221			
(うち長期前受金戻入)	5,576			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	649,146			
2 経常費用	649,146			
(1) 医業費用	625,669			
職員給与費	406,389	105.9	60.8	82.0
材料費	67,416	17.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	39,687	10.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,729	7.2	11.8	6.1
減価償却費	42,621	11.1	8.6	12.5
経費	107,581	28.0	22.0	34.4
(うち委託料)	73,142	19.1	11.8	16.9
研究研修費	451			
資産減耗費	1,211			
(2) 医業外費用	23,477			
(うち支払利息)	685	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損	-6,276			
純損	-6,229			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.0		93.0	93.1
医業収支比率	61.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	55.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	44.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	74.1		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	44.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	55.3		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	943,768
1 固定資産	563,774
(1) 有形固定資産	563,774
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	379,994
(1) 現金及び預金	333,349
(2) 未収金及び未収収益	45,471
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	1,174
3 繰延資産	-
負債合計	172,457
1 固定負債	56,585
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,585
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	65,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,606
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,842
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,254
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	50,170
(1) 長期前受金	190,871
(2) 長期前受金収益化累計額( )	140,701
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	771,311
1 資本金	742,942
2 剰余金	28,369
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	28,369
負債・資本合計	943,768
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,461	284,212
資本勘定繰入	-	5,775
計	192,461	289,987

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	芽室町				
病院名	国保芽室病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,497 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	120	71.5	67.3	68.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	71.5	67.3	68.6
平均在院日数(一般病床のみ)		25.4	20.2	17.5

設立団体の状況	
人口(人)	18,048
決算規模(千円)	14,249,725
標準財政規模(千円)	7,905,078
財政力指数	0.48
経常収支比率(%)	89.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.2
将来負担比率(%)	66.8

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,135,617				
1 経常収益	2,135,617				
(1) 医業収益	1,668,738				
(うち修正医業収益)	1,566,728				
入院収益	882,734				
外来収益	564,664				
診療収入計	1,447,398				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	221,340				
(うち他会計負担金)	102,010				
(2) 医業外収益	466,879				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	336,794				
(うち長期前受金戻入)	107,381				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,232,799				
2 経常費用	2,232,799				
(1) 医業費用	2,180,430				
職員給与費	1,409,304	84.5	60.8	69.3	
材料費	199,924	12.0	27.1	18.4	
(うち薬品費)	104,489	6.3	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,437	4.4	11.8	9.1	
減価償却費	165,808	9.9	8.6	10.8	
経費	399,474	23.9	22.0	29.9	
(うち委託料)	156,691	9.4	11.8	13.7	
研究研修費	4,570				
資産減耗費	1,350				
(2) 医業外費用	52,369				
(うち支払利息)	4,309	0.3	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-97,182				
純損益	-97,182				
累積欠損金	15,345				
経常収支比率	95.6		93.0	91.6	
医業収支比率	76.5		83.9	77.4	
修正医業収支比率	71.9		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	26.3		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	20.5		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	76.0		81.6	75.4	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,018,694
1 固定資産	1,952,271
(1) 有形固定資産	1,952,271
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,066,423
(1) 現金及び預金	938,066
(2) 未収金及び未収収益	108,829
(3) 貸倒引当金( )	1,191
(4) 貯蔵品	20,719
3 繰延資産	-
負債合計	1,447,602
1 固定負債	403,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	315,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	79,978
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,342
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	128,574
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	728,731
(1) 長期前受金	2,329,931
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,601,200
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,571,092
1 資本金	482,954
2 剰余金	1,088,138
(1) 資本剰余金	1,103,483
(2) 利益剰余金	-15,345
負債・資本合計	3,018,694
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	438,804	438,804
資本勘定繰入	55,262	55,262
計	494,066	494,066

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>				都道府県名 北海道
市町村・組合名	大樹町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	4,057 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	79.8	88.3	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	79.8	88.3	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		36.5	45.1	44.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,420	
決算規模(千円)	8,863,042	
標準財政規模(千円)	4,566,766	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	1.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	986,360			
1 経常収益	986,360			
(1) 医業収益	576,507			
(うち修正医業収益)	486,796			
入院収益	274,438			
外来収益	184,875			
診療収入計	459,313			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	117,194			
(うち他会計負担金)	89,711			
(2) 医業外収益	409,853			
(うち国・都道府県補助金)	490			
(うち他会計補助・負担金)	347,375			
(うち長期前受金戻入)	55,324			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,013,908			
2 経常費用	1,013,908			
(1) 医業費用	988,100			
職員給与費	671,921	116.6	60.8	82.0
材料費	112,843	19.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	35,557	6.2	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,694	10.9	11.8	6.1
減価償却費	59,933	10.4	8.6	12.5
経費	142,309	24.7	22.0	34.4
(うち委託料)	59,962	10.4	11.8	16.9
研究研修費	1,094			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,808			
(うち支払利息)	2,086	0.4	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-27,548			
純損失	-27,548			
累積欠損金	1,005,396			
経常収支比率	97.3		93.0	93.1
医業収支比率	58.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	49.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	44.3		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	75.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	44.3		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	54.2		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,517,190
1 固定資産	1,292,382
(1) 有形固定資産	1,289,022
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,360
2 流動資産	224,808
(1) 現金及び預金	143,569
(2) 未収金及び未収収益	71,291
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	9,948
3 繰延資産	-
負債合計	1,361,967
1 固定負債	590,327
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	590,327
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	111,594
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,098
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,043
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,453
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	660,046
(1) 長期前受金	1,157,077
(2) 長期前受金収益化累計額( )	497,031
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	155,223
1 資本金	1,160,361
2 剰余金	-1,005,138
(1) 資本剰余金	258
(2) 利益剰余金	-1,005,396
負債・資本合計	1,517,190
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	435,412	437,086
資本勘定繰入	19,163	38,327
計	454,575	475,413

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	174.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	広尾町		
病院名	広尾町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	6,387
決算規模(千円)	7,639,720
標準財政規模(千円)	4,866,133
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	89.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	46			
1 経常収益	46			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	46			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	46			
2 経常費用	46			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	46			
(うち支払利息)	46	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	池田町		
病院名	十勝いけだ地域医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,678 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	60.7	53.0	50.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	60.7	53.0	50.3
平均在院日数(一般病床のみ)		8.5	9.2	9.2

設立団体の状況		
人口(人)	6,294	
決算規模(千円)	9,535,428	
標準財政規模(千円)	4,216,405	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	273,136			
1 経常収益	273,136			
(1) 医業収益	989			
(うち修正医業収益)	989			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	989			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	272,147			
(うち国・都道府県補助金)	1,500			
(うち他会計補助・負担金)	249,175			
(うち長期前受金戻入)	21,375			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	396,959			
2 経常費用	396,959			
(1) 医業費用	392,538			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	141,090	14265.9	8.6	12.5
経費	248,057	25081.6	22.0	34.4
(うち委託料)	1,659	167.7	11.8	16.9
研究研修費	21			
資産減耗費	3,370			
(2) 医業外費用	4,421			
(うち支払利息)	3,077	311.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-123,823			
純損失	-123,823			
累積欠損金	1,989,614			
経常収支比率	68.8		93.0	93.1
医業収支比率	0.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	0.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	91.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	25194.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	91.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	6.0		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,762,318
1 固定資産	1,446,477
(1) 有形固定資産	1,445,915
(2) 無形固定資産	562
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	315,841
(1) 現金及び預金	305,485
(2) 未収金及び未収収益	10,356
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,801,288
1 固定負債	1,090,706
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,080,683
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	10,023
(6) リース債務	-
2 流動負債	150,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	149,461
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,044
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	559,877
(1) 長期前受金	862,011
(2) 長期前受金収益化累計額( )	302,134
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-38,970
1 資本金	1,944,544
2 剰余金	-1,983,514
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,983,514
負債・資本合計	1,762,318
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	38,970
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	247,960	249,175
資本勘定繰入	74,527	111,903
計	322,487	361,078

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	201174.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	本別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	58.2	65.3	59.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	58.2	65.3	59.4
平均在院日数(一般病床のみ)		33.0	37.5	34.8

設立団体の状況		
人口(人)	6,618	
決算規模(千円)	7,660,873	
標準財政規模(千円)	4,319,732	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	30.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,144,743			
1 経常収益	1,144,743			
(1) 医業収益	861,585			
(うち修正医業収益)	602,985			
入院収益	305,940			
外来収益	261,363			
診療収入計	567,303			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	294,282			
(うち他会計負担金)	258,600			
(2) 医業外収益	283,158			
(うち国・都道府県補助金)	26,309			
(うち他会計補助・負担金)	221,245			
(うち長期前受金戻入)	19,095			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,191,268			
2 経常費用	1,191,268			
(1) 医業費用	1,141,447			
職員給与費	783,073	90.9	60.8	82.0
材料費	111,080	12.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	34,436	4.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,876	7.3	11.8	6.1
減価償却費	60,219	7.0	8.6	12.5
経費	179,166	20.8	22.0	34.4
(うち委託料)	71,720	8.3	11.8	16.9
研究研修費	2,629			
資産減耗費	5,280			
(2) 医業外費用	49,821			
(うち支払利息)	11,018	1.3	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-46,525			
純損益	-46,525			
累積欠損金	2,065,287			
経常収支比率	96.1		93.0	93.1
医業収支比率	75.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	52.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	55.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	41.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	55.8		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,121,525
1 固定資産	991,768
(1) 有形固定資産	983,951
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	7,817
2 流動資産	129,757
(1) 現金及び預金	20,902
(2) 未収金及び未収収益	91,191
(3) 貸倒引当金( )	118
(4) 貯蔵品	15,585
3 繰延資産	-
負債合計	934,002
1 固定負債	572,355
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	554,893
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	17,462
2 流動負債	201,853
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	99,388
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,058
(6) リース債務	5,240
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,977
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	159,794
(1) 長期前受金	496,825
(2) 長期前受金収益化累計額( )	337,031
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	187,523
1 資本金	2,244,268
2 剰余金	-2,056,745
(1) 資本剰余金	8,542
(2) 利益剰余金	-2,065,287
負債・資本合計	1,121,525
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	485,781	479,845
資本勘定繰入	63,254	71,054
計	549,035	550,899

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	239.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>				都道府県名 北海道
市町村・組合名	足寄町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,102 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	9	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	48.5	39.2	51.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	48.5	39.2	51.2
平均在院日数(一般病床のみ)		26.0	24.6	26.6

設立団体の状況	
人口(人)	6,563
決算規模(千円)	9,651,842
標準財政規模(千円)	5,957,989
財政力指数	0.20
経常収支比率(%)	92.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.5 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,090,832			
1 経常収益	1,090,832			
(1) 医業収益	666,647			
(うち修正医業収益)	486,012			
入院収益	212,432			
外来収益	227,958			
診療収入計	440,390			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	226,257			
(うち他会計負担金)	180,635			
(2) 医業外収益	424,185			
(うち国・都道府県補助金)	30,938			
(うち他会計補助・負担金)	347,624			
(うち長期前受金戻入)	19,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,127,789			
2 経常費用	1,127,789			
(1) 医業費用	1,092,102			
職員給与費	670,428	100.6	60.8	82.0
材料費	81,645	12.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	18,123	2.7	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,170	7.4	11.8	6.1
減価償却費	76,350	11.5	8.6	12.5
経費	260,410	39.1	22.0	34.4
(うち委託料)	70,958	10.6	11.8	16.9
研究研修費	1,980			
資産減耗費	1,289			
(2) 医業外費用	35,687			
(うち支払利息)	6,291	0.9	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-36,957			
純損失	-36,957			
累積欠損金	2,662,006			
経常収支比率	96.7		93.0	93.1
医業収支比率	61.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	44.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	48.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	79.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	48.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	49.9		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	990,117
1 固定資産	892,738
(1) 有形固定資産	892,522
(2) 無形固定資産	216
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	97,379
(1) 現金及び預金	23,574
(2) 未収金及び未収収益	68,454
(3) 貸倒引当金( )	901
(4) 貯蔵品	6,252
3 繰延資産	-
負債合計	665,977
1 固定負債	372,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	372,486
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	167,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	83,871
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,637
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,554
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	126,255
(1) 長期前受金	465,954
(2) 長期前受金収益化累計額( )	339,699
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	324,140
1 本金	2,986,146
2 剰余金	-2,662,006
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,662,006
負債・資本合計	990,117
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	528,204	528,259
資本勘定繰入	58,754	73,576
計	586,958	601,835

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	399.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	厚岸町		
病院名	厚岸病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,988 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	53.7	58.2	51.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	53.7	58.2	51.0
平均在院日数(一般病床のみ)		28.5	25.3	25.7

設立団体の状況		
人口(人)	8,892	
決算規模(千円)	13,549,574	
標準財政規模(千円)	5,635,967	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	60.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,291,251			
1 経常収益	1,291,251			
(1) 医業収益	763,236			
(うち修正医業収益)	632,633			
入院収益	247,004			
外来収益	292,976			
診療収入計	539,980			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	223,256			
(うち他会計負担金)	130,603			
(2) 医業外収益	528,015			
(うち国・都道府県補助金)	176			
(うち他会計補助・負担金)	406,455			
(うち長期前受金戻入)	94,506			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,271,246			
2 経常費用	1,271,246			
(1) 医業費用	1,225,551			
職員給与費	669,704	87.7	60.8	82.0
材料費	113,829	14.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	55,537	7.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,183	6.6	11.8	6.1
減価償却費	94,727	12.4	8.6	12.5
経費	344,595	45.1	22.0	34.4
(うち委託料)	105,756	13.9	11.8	16.9
研究研修費	1,261			
資産減耗費	1,435			
(2) 医業外費用	45,695			
(うち支払利息)	7,437	1.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損	20,005			
純損	20,005			
累積欠損金	583,531			
経常収支比率	101.6		93.0	93.1
医業収支比率	62.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	51.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.6		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	70.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	41.6		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	59.3		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,036,918
1 固定資産	1,826,331
(1) 有形固定資産	1,736,489
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	89,842
2 流動資産	210,587
(1) 現金及び預金	92,661
(2) 未収金及び未収収益	103,828
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	14,098
3 繰延資産	-
負債合計	2,564,357
1 固定負債	186,898
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	120,249
(2) その他の企業債	66,649
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	189,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	93,024
(2) その他の企業債	9,491
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,547
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,526
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,187,804
(1) 長期前受金	4,227,241
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,039,437
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-527,439
1 本金	56,092
2 剰余金	-583,531
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-583,531
負債・資本合計	2,036,918
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	527,439
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	531,736	537,058
資本勘定繰入	100,064	161,942
計	631,800	699,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	標茶町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,985 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	38.2	34.2	38.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	38.2	34.2	38.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	20.0	22.0

設立団体の状況	
人口(人)	7,230
決算規模(千円)	11,982,029
標準財政規模(千円)	6,341,424
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	93.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.1
将来負担比率(%)	74.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,345,298			
1 経常収益	1,345,298			
(1) 医業収益	693,361			
(うち修正医業収益)	498,882			
入院収益	239,551			
外来収益	195,936			
診療収入計	435,487			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	257,874			
(うち他会計負担金)	194,479			
(2) 医業外収益	651,937			
(うち国・都道府県補助金)	192			
(うち他会計補助・負担金)	639,907			
(うち長期前受金戻入)	7,597			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,270,339			
2 経常費用	1,270,339			
(1) 医業費用	1,228,297			
職員給与費	654,233	94.4	60.8	82.0
材料費	97,764	14.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	42,898	6.2	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,513	6.3	11.8	6.1
減価償却費	77,386	11.2	8.6	12.5
経費	394,616	56.9	22.0	34.4
(うち委託料)	100,718	14.5	11.8	16.9
研究研修費	2,532			
資産減耗費	1,766			
(2) 医業外費用	42,042			
(うち支払利息)	6,290	0.9	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	74,959			
純損益	74,959			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.9		93.0	93.1
医業収支比率	56.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	40.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	62.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	120.3		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	62.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	40.2		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,857,933
1 固定資産	1,565,410
(1) 有形固定資産	1,565,022
(2) 無形固定資産	388
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	292,523
(1) 現金及び預金	159,471
(2) 未収金及び未収収益	122,625
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	10,427
3 繰延資産	-
負債合計	369,223
1 固定負債	43,282
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,579
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	14,703
2 流動負債	181,366
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,337
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,863
(6) リース債務	2,932
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,168
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	144,575
(1) 長期前受金	207,316
(2) 長期前受金収益化累計額( )	62,741
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,488,710
1 資本金	1,410,444
2 剰余金	78,266
(1) 資本剰余金	3,307
(2) 利益剰余金	74,959
負債・資本合計	1,857,933
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	834,386	834,386
資本勘定繰入	112,870	115,614
計	947,256	950,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	別海町		
病院名	別海病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド末訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,565 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	84	56.8	58.3	63.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	56.8	58.3	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	21.1	23.3

設立団体の状況		
人口(人)	14,380	
決算規模(千円)	36,903,558	
標準財政規模(千円)	9,874,790	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,271,412			
1 経常収益	2,271,412			
(1) 医業収益	1,139,205			
(うち修正医業収益)	1,099,496			
入院収益	464,440			
外来収益	504,228			
診療収入計	968,668			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	170,537			
(うち他会計負担金)	39,709			
(2) 医業外収益	1,132,207			
(うち国・都道府県補助金)	723			
(うち他会計補助・負担金)	1,047,272			
(うち長期前受金戻入)	73,185			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,258,719			
2 経常費用	2,258,719			
(1) 医業費用	2,146,128			
職員給与費	1,053,589	92.5	60.8	82.0
材料費	241,019	21.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	110,022	9.7	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	130,997	11.5	11.8	6.1
減価償却費	198,568	17.4	8.6	12.5
経費	644,748	56.6	22.0	34.4
(うち委託料)	462,609	40.6	11.8	16.9
研究研修費	3,547			
資産減耗費	4,657			
(2) 医業外費用	112,591			
(うち支払利息)	22,574	2.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	12,693			
純損益	12,693			
累積欠損金	2,781,102			
経常収支比率	100.6		93.0	93.1
医業収支比率	53.1		83.9	69.6
修正医業収支比率	51.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	47.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	95.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	47.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	52.4		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,228,922
1 固定資産	2,945,307
(1) 有形固定資産	2,945,307
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	283,615
(1) 現金及び預金	149,433
(2) 未収金及び未収収益	124,369
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	9,813
3 繰延資産	-
負債合計	2,896,896
1 固定負債	1,607,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,590,257
(2) その他の企業債	17,584
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	299,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,009
(2) その他の企業債	1,759
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,566
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	110,980
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	989,401
(1) 長期前受金	2,073,070
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,083,669
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	332,026
1 資本金	3,113,128
2 剰余金	-2,781,102
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,781,102
負債・資本合計	3,228,922
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,086,981	1,086,981
資本勘定繰入	80,000	80,000
計	1,166,981	1,166,981

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	244.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	中標津町		
病院名	中標津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	16,829 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	173	62.1	65.3	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	173	62.1	65.3	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	13.4	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	23,010	
決算規模(千円)	16,198,145	
標準財政規模(千円)	9,079,824	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	87.5

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	4,672,792				
1 経常収益	4,672,713				
(1) 医業収益	3,912,010				
(うち修正医業収益)	3,624,587				
入院収益	1,920,706				
外来収益	1,523,985				
診療収入計	3,444,691				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	467,319				
(うち他会計負担金)	287,423				
(2) 医業外収益	760,703				
(うち国・都道府県補助金)	6,760				
(うち他会計補助・負担金)	625,272				
(うち長期前受金戻入)	102,984				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	79				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	5,031,069				
2 経常費用	4,998,854				
(1) 医業費用	4,727,550				
職員給与費	1,968,902	50.3	60.8	69.3	
材料費	835,278	21.4	27.1	18.4	
(うち薬品費)	320,720	8.2	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	514,558	13.2	11.8	9.1	
減価償却費	346,028	8.8	8.6	10.8	
経費	1,554,686	39.7	22.0	29.9	
(うち委託料)	591,016	15.1	11.8	13.7	
研究研修費	7,850				
資産減耗費	14,806				
(2) 医業外費用	271,304				
(うち支払利息)	29,215	0.7	0.9	1.0	
(3) 特別損失	32,215				
経常損益	-326,141				
純損益	-358,277				
累積欠損金	-				
経常収支比率	93.5		93.0	91.6	
医業収支比率	82.7		83.9	77.4	
修正医業収支比率	76.7		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	23.3		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	19.5		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	75.2		81.6	75.4	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,668,578
1 固定資産	3,867,492
(1) 有形固定資産	3,402,812
(2) 無形固定資産	464,680
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	801,086
(1) 現金及び預金	178,142
(2) 未収金及び未収収益	583,848
(3) 貸倒引当金( )	1,000
(4) 貯蔵品	40,096
3 繰延資産	-
負債合計	3,307,649
1 固定負債	1,790,746
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,561,947
(2) その他の企業債	223,657
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,142
(6) リース債務	-
2 流動負債	988,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	553,365
(2) その他の企業債	23,543
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	143,343
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	235,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	528,820
(1) 長期前受金	1,269,271
(2) 長期前受金収益化累計額( )	740,451
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,360,929
1 資本金	1,185,425
2 剰余金	175,504
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	175,504
負債・資本合計	4,668,578
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	841,031	912,695
資本勘定繰入	288,092	288,092
計	1,129,123	1,200,787

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		標津町			
病院名		標津町国民健康保険標津病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,686 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	35	51.9	57.5	44.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	51.9	57.5	44.7
平均在院日数(一般病床のみ)		33.7	32.5	33.0

設立団体の状況		
人口(人)	5,023	
決算規模(千円)	7,997,133	
標準財政規模(千円)	4,215,689	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	18.4

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,012,161				
1 経常収益	1,012,161				
(1) 医業収益	356,348				
(うち修正医業収益)	356,348				
入院収益	122,365				
外来収益	182,567				
診療収入計	304,932				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	51,416				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	655,813				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	641,927				
(うち長期前受金戻入)	13,041				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,001,229				
2 経常費用	1,001,229				
(1) 医業費用	988,986				
職員給与費	588,042	165.0	60.8	92.5	
材料費	54,850	15.4	27.1	14.2	
(うち薬品費)	37,598	10.6	14.8	7.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,252	4.8	11.8	5.8	
減価償却費	74,323	20.9	8.6	13.4	
経費	225,884	63.4	22.0	47.6	
(うち委託料)	82,743	23.2	11.8	23.6	
研究研修費	43,249				
資産減耗費	2,638				
(2) 医業外費用	12,243				
(うち支払利息)	2,094	0.6	0.9	0.9	
(3) 特別損失	-				
経常損益	10,932				
純損益	10,932				
累積欠損金	686,694				
経常収支比率	101.1		93.0	95.6	
医業収支比率	36.0		83.9	59.3	
修正医業収支比率	36.0		81.0	54.4	
他会計繰入金対経常収益比率	63.4		12.2	36.9	
他会計繰入金対医業収益比率	180.1		14.3	63.1	
他会計繰入金対総収益比率	63.4		12.3	36.8	
実質収益対経常費用比率	37.0		81.6	60.3	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,380,568
1 固定資産	961,029
(1) 有形固定資産	960,673
(2) 無形固定資産	356
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	419,539
(1) 現金及び預金	249,064
(2) 未収金及び未収収益	152,026
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	18,449
3 繰延資産	-
負債合計	599,414
1 固定負債	533,495
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	529,933
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	3,562
2 流動負債	61,619
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,594
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,060
(6) リース債務	726
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,496
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,300
(1) 長期前受金	87,585
(2) 長期前受金収益化累計額( )	83,285
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	781,154
1 資本金	1,153,223
2 剰余金	-372,069
(1) 資本剰余金	314,625
(2) 利益剰余金	-686,694
負債・資本合計	1,380,568
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	641,927	641,927
資本勘定繰入	7,741	13,079
計	649,668	655,006

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	192.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	広域紋別病院企業団		
病院名	広域紋別病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,584 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	148	54.0	52.4	48.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	11.5	28.1
計	150	53.3	51.8	47.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	13.7	16.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,598,352			
1 経常収益	3,566,929			
(1) 医業収益	2,384,062			
(うち修正医業収益)	2,303,401			
入院収益	1,231,773			
外来収益	1,013,689			
診療収入計	2,245,462			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	138,600			
(うち他会計負担金)	80,661			
(2) 医業外収益	1,182,867			
(うち国・都道府県補助金)	16,552			
(うち他会計補助・負担金)	862,023			
(うち長期前受金戻入)	274,118			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	31,423			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,447,009			
2 経常費用	4,421,585			
(1) 医業費用	4,254,100			
職員給与費	2,021,401	84.8	60.8	69.3
材料費	568,331	23.8	27.1	18.4
(うち薬品費)	300,618	12.6	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	267,679	11.2	11.8	9.1
減価償却費	414,288	17.4	8.6	10.8
経費	1,231,280	51.6	22.0	29.9
(うち委託料)	304,572	12.8	11.8	13.7
研究研修費	8,681			
資産減耗費	10,119			
(2) 医業外費用	167,485			
(うち支払利息)	2,560	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	25,424			
経常損益	-854,656			
純損益	-848,657			
累積欠損金	612,964			
経常収支比率	80.7		93.0	91.6
医業収支比率	56.0		83.9	77.4
修正医業収支比率	54.1		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	39.5		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	26.2		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	59.4		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,660,873
1 固定資産	6,449,611
(1) 有形固定資産	4,878,767
(2) 無形固定資産	709
(3) 投資その他の資産	1,570,135
2 流動資産	1,211,262
(1) 現金及び預金	745,062
(2) 未収金及び未収収益	403,762
(3) 貸倒引当金( )	909
(4) 貯蔵品	63,269
3 繰延資産	-
負債合計	8,006,696
1 固定負債	5,623,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,800,264
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	261,864
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	376,501
(6) リース債務	-
2 流動負債	712,681
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	202,481
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,572
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	102,837
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	282,633
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,670,424
(1) 長期前受金	4,124,545
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,454,121
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-345,823
1 資本金	469
2 剰余金	-346,292
(1) 資本剰余金	266,672
(2) 利益剰余金	-612,964
負債・資本合計	7,660,873
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	345,823
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	460,524	942,684
資本勘定繰入	294,733	272,257
計	755,257	1,214,941

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	利尻島国民健康保険病院組合		
病院名	利尻島国保中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,659 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	42	38.9	34.7	30.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	38.9	34.7	30.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	14.9	16.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	764,418			
1 経常収益	764,318			
(1) 医業収益	465,369			
(うち修正医業収益)	409,994			
入院収益	174,965			
外来収益	199,946			
診療収入計	374,911			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	90,458			
(うち他会計負担金)	55,375			
(2) 医業外収益	298,949			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	196,831			
(うち長期前受金戻入)	66,652			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	981,138			
2 経常費用	980,138			
(1) 医業費用	928,076			
職員給与費	512,481	110.1	60.8	92.5
材料費	74,376	16.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	56,382	12.1	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,201	2.2	11.8	5.8
減価償却費	112,635	24.2	8.6	13.4
経費	218,514	47.0	22.0	47.6
(うち委託料)	112,302	24.1	11.8	23.6
研究研修費	1,298			
資産減耗費	8,772			
(2) 医業外費用	52,062			
(うち支払利息)	434	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	1,000			
損益	-215,820			
純損益	-216,720			
累積欠損金	13,320			
経常収支比率	78.0		93.0	95.6
医業収支比率	50.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	44.2		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	54.2		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	33.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	52.2		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,782,507
1 固定資産	1,200,353
(1) 有形固定資産	1,190,307
(2) 無形固定資産	546
(3) 投資その他の資産	9,500
2 流動資産	582,154
(1) 現金及び預金	175,780
(2) 未収金及び未収収益	301,152
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	73,667
3 繰延資産	-
負債合計	1,048,034
1 固定負債	138,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	138,769
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	120
2 流動負債	275,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,031
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,341
(6) リース債務	8,747
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	222,497
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	633,764
(1) 長期前受金	1,163,767
(2) 長期前受金収益化累計額( )	530,003
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	734,473
1 資本金	746,823
2 剰余金	-12,350
(1) 資本剰余金	970
(2) 利益剰余金	-13,320
負債・資本合計	1,782,507
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	250,961	252,206
資本勘定繰入	1,668	7,668
計	252,629	259,874

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。